

Roland

RD-2000

取扱説明書



用途別機能ガイド

用途	オススメ機能
ピアノを演奏する	ワンタッチピアノ (P.9) トーン (P.14)
さまざまな音色を演奏する	トーン (P.14) プログラム (P.15)
好みの順番で音色を並べる	シーン (P.15)
外部機器を制御する	シーン (P.15) アサイン (P.17) Ext Labe Edit (P.18) パソコンと接続する (P.18)
音色を好みに合わせる	音色をエディットする (P.20) 操作ガイド (P.14)
演奏に必要な各種設定をする	Menu 画面 (P.26) システム設定 (P.26)
本体の機能をいろいろ使う	多彩な機能を使って演奏する (P.24) 操作ガイド (P.14)
本体の設定を記憶する	バックアップ (P.27)

📖 取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。基本的な使いかたを説明しています。

📄 PDF マニュアル (Web からダウンロード)

• パラメーター・ガイド

本機のすべてのパラメーターについて解説しています。

• MIDI インプリメンテーション

MIDIメッセージの詳細資料です。

📄 PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。
<http://www.roland.co.jp/manuals/>



2. 製品名「RD-2000」を選んでください。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.4)をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2017 ローランド株式会社

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

マークについて 本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットをあげないでください。	
<p>注意： 感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。 修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。</p>		



このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

⚠ 警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

RD-2000 の [⊕] スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、RD-2000 の [⊖] スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.11）。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



⚠ 警告

次のような場所で使用や保管はしない

- ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・湯気や油煙が当たる場所
- ・塩害の恐れがある場所
- ・雨に濡れる場所
- ・ほこりや砂ほこりの多い場所
- ・振動や揺れの多い場所
- ・風通しの悪い場所



指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド（型番：KS-G8B）を使用してください（P.6）。



不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド（型番：KS-G8B）を使用する場合、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。



⚠ 警告

電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



警告

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.11）。



注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド（KS-G8B）とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



注意

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。



定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



移動するときはずべての接続をはずす

本機を移動するときには、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲んでしまうことのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 取りはずしが可能な部品
- USB キャップ (P.10)

使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

鍵盤の取り扱いについて

- ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ひどい汚れを落とすときは、研磨剤が入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がかからないように注意しましょう。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- エクスペディション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム [eParts™] が搭載されています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-license 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- Roland、BOSS、SuperNATURAL、Ivory Feel は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

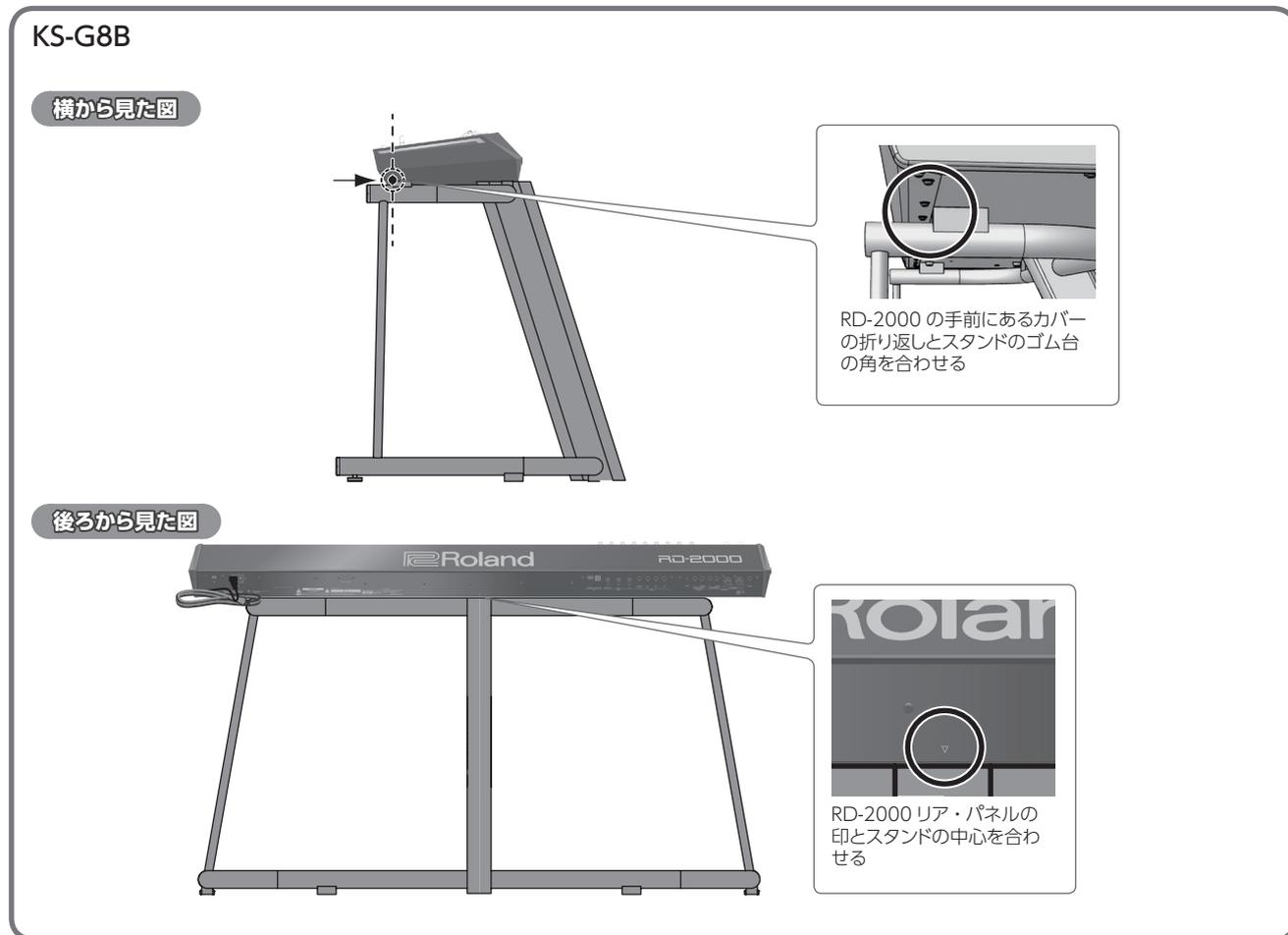
安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
スタンドに設置する	6
主な仕様	6
RD-2000 の基本操作	7
各部の名称とはたらき	8
トップ・パネル	8
リア・パネル (機器の接続)	10
電源を入れる	11
電源を切る	11
自動で電源を切りたくない場合は、「オート・オフ」の設定を オフにしてください	11
RD-2000 の概要	12
RD-2000 の基本構成	12
メモリーについて	12
音の単位	13
操作ガイド	14
全体の音量を調節する	14
ZONE ごと の音量を調節する	14
割り当てられた機能で音を変化させる (Mod WHEEL 1 / 2)	14
音の高さをリアルタイムに変化させる (ピッチ・ベンド・レバー)	14
ビブラートやダイナミクスをつける (モジュレーション・レバー)	14
ボタンを効かないようにする (パネル・ロック)	14
移調して演奏する (トランスポーズ)	14
音色を選ぶ (TONE / SCENE / PROGRAM)	14
トーンを重ねる	15
鍵盤を 2 つの鍵域に分ける (スプリット)	15
音に響きをつける (リバーブ)	16
音にディレイをかける (ディレイ)	16
トレモロをかける (トレモロ)	16
歪み具合を調節する (アンプ・シミュレーター)	17
トレモロやアンプ・シミュレーターの種類を変える	17
音の各帯域のレベルを調節する (イコライザー)	17
つまみに機能を割り当ててコントロールする (アサイン)	17
プラグイン・シンセを使ってライブ演奏する	18
USB オーディオを使う	19
SUB OUT を使う	19
音色をエディットする	20
音のキャラクターを変化させる (トーン・カラー)	20
つまみを使って音作りをする	20
プログラムをエディットする (プログラム・エディット)	21
トーンをエディットする (デザイナー)	21
オルガンの音を作る	22
各 ZONE の状態を表示する (ZONE の詳細画面)	22
音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト)	23
プログラムの順番を変える (プログラム・スワップ)	23
多彩な機能を使って演奏する	24
リズムを鳴らす	24
オーディオを録音する	24
USB メモリーのオーディオ・ファイルを再生する	25

便利な機能	26
Menu 画面を表示する	26
システムの設定 (システム)	26
メモリーを初期化する (フォーマット)	26
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)	27
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)	27
デモ・ソングを聴く	27
RD-2000 のデータを USB メモリーへバックアップする (Backup Save)	27
USB メモリーへバックアップしたデータを本体に戻す	27
ショートカット一覧	28

スタンドに設置する

RD-2000 をスタンドに設置するときは、当社製のスタンド KS-G8B をご使用ください。
ご使用になるときは以下のように設置します。

※ スタンドに設置するときは、指などを挟まないよう、十分にご注意ください。



主な仕様

ローランド RD-2000 : デジタル・ピアノ

鍵盤	88 鍵 (PHA-50)
電源	AC100V (50 / 60Hz)
消費電力	23W
外形寸法	1,412 (幅) × 367 (奥行) × 140 (高さ) mm
質量	21.7kg ※ 木部品が含まれるため、質量が記載の表示とは多少異なることがあります。
付属品	取扱説明書 電源コード ダンパー・ペダル (連続検出対応) 保証書 ローランド ユーザー登録カード

別売品	キーボード・スタンド: KS-G8B ピアノ・ペダル: RPU-3 ダンパー・ペダル: DP-10 ペダル・スイッチ: DP-2 エクスプレッション・ペダル: EV-5 USB メモリー (※) ※ 市販の USB メモリーまたはローランドが販売している USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。
-----	--

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

RD-2000 の基本操作

MENU 画面

RD-2000 のシステム設定やファイル管理などをします。



TONE 画面

RD-2000 起動直後や TONE ボタンを押したときの画面です。



各 ZONE をレイヤーしたときの画面です。



PROGRAM 画面

PROGRAM ボタンを押したときの画面です。



SCENE 画面



設定項目 (カーソル) の移動

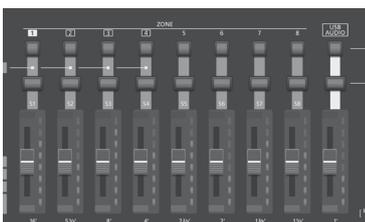
1 つの画面に複数の項目が表示されている場合、設定を変更したい項目名や値が枠で囲まれます。この枠を「カーソル」といい、カーソル [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで移動します。



つまみやスライダーの操作

つまみやスライダーなどで設定を変更すると、変更したパラメーターとその値が、ポップアップ画面に表示されます。

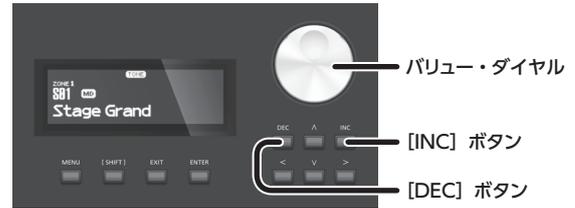
ポップアップ画面は、しばらく表示すると自動的に閉じます。



パラメーターによってはポップアップ画面が表示されません。

値の変更

設定値を変更するときは、[DEC] [INC] ボタンやバリュー・ダイヤル、TONE ボタン (テン・キー) を使います。



[DEC] ボタン、[INC] ボタン

値を大きくするときは [INC] ボタンを押し、小さくするときは [DEC] ボタンを押します。

目的	操作
連続して値を変えたいとき	[DEC] ボタンまたは [INC] ボタンを押し続けます。
値を速く変えたいとき	[INC] ボタンを押しながら [DEC] ボタンを押します。 [DEC] ボタンを押しながら [INC] ボタンを押します。
項目の基準値にしたいとき	[DEC] ボタンと [INC] ボタンを同時に押します。

バリュー・ダイヤル

値を大きくするときは時計回りに回し、小さくするときは反時計回りに回します。

TONE ボタン (テン・キー)



設定項目によっては、TONE ボタン ([0] ~ [9]) をテン・キーとして使い、数値を直接指定できるものがあります。TONE / PROGRAM / SCENE / ZONE EDIT 画面でテン・キーとして使うときは、[SHIFT] ボタンを押しながら操作します。テン・キーで数値を入力すると画面の値が点滅します。点滅している状態では値が確定されていないので、[ENTER] ボタンを押して確定させます。

値の確定 / キャンセル

設定値を確定するときは、[ENTER] ボタンを押します。

キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。



各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 MOD WHEEL 1 / 2

これらのホイールに、いろいろな機能を割り当てられます。演奏中にこれらのホイールを動かして、割り当てられた機能を使います。

2 [MASTER VOLUME] つまみ

RD-2000 全体の音量を調節します。

3 MODULATION FX

[ON] ボタン

ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

[TYPE] つまみ

モジュレーション FX のタイプを選びます。

[DEPTH] つまみ

モジュレーション FX のかかる深さを調節します。

[RATE] つまみ

モジュレーション FX のかかる周期を調節します。

[FEEDBACK] つまみ

モジュレーション FX のフィードバック量を調節します。

4 TREMOLO

[ON] ボタン

ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

[TYPE] つまみ

トレモロのタイプを選びます。

[DEPTH] つまみ

トレモロ効果のかかる深さを調節します。

[RATE] つまみ

トレモロ効果のかかる周期を調節します。

5 AMP SIM

[DRIVE] つまみ

音の歪み具合を調節します。

[ON] ボタン

ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

6 [ZONE EFFECTS] ボタン

ZONE EFFECT をオン/オフします。

ZONE EFFECT がオンのときは、MODULATION FX、TREMOLO、AMP SIM のつまみやボタンは各機能の操作子として動作します。オフのときは、[SELECT] ボタンで選んだ機能の操作子として動作します。

[SELECT] ボタン

ZONE EFFECT がオフのとき、つまみやボタンの動作を選びます。ボタンを押すたびに機能が切り替わります。

CTRL、ASSIGN、EQ、REVERB / DELAY インジケーター

[SELECT] ボタンで選んでいる機能を表示します。

7 ZONE

SELECT ボタン (1 ~ 8、USB-AUDIO)

操作する ZONE を選びます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、各 ZONE の ZONE EDIT 画面を表示します。

INT / EXT 切り替えボタン (1 ~ 8、USB-AUDIO)

各 ZONE をオン/オフします。

つまみやスライダーで RD-2000 本体を操作するか、外部 MIDI 音源を操作するかを選びます。

スライダー (S1 ~ S8、USB-AUDIO)

各ゾーンの音量を調整したり、値を変更したりします。

[LEVEL] ボタン

ボタンを押して点灯させると、スライダーで各 ZONE の音量を調節できます。

[ASSIGN] ボタン

ボタンを押して点灯させると、スライダーに割り当てた値を変更できます。

[SCENE] ボタン

ボタンを押して点灯させると、TONE ボタンでシーンを呼び出すことができます。

SELECT ボタンで選んでいる ZONE に TW オルガン音色が選ばれているときは、[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、スライダーを TW オルガンのハーモニック・バーとして音色を変えることができます。

8

ディスプレイ

トーン名やプログラム名など、さまざまな設定を表示します。

[MENU] ボタン

MENU 画面を表示します。MENU 画面では、RD-2000 全体の設定をすることができます。

[SHIFT] ボタン

このボタンを押しながら、ボタンやつまみ、コントローラーを操作すると、関係する設定画面を呼び出すことができます。詳しくは、「ショートカット一覧」(P.28)をご覧ください。

また、このボタンを押しながらパラメーターの値を変更すると、値の変化が大きくなります。

[EXIT] ボタン

元の画面に戻るときや、操作を中止するときに使います。

[ENTER] ボタン

主に値の確定や操作を実行するときに使います。

9 カーソル・ボタン／バリュー・ダイヤル

バリュー・ダイヤル

値を変更します。

[DEC] ボタン、[INC] ボタン

値を変更します。

片方のボタンを押しながら、もう一方のボタンを押すと、値が速く変わります。

バリュー・ダイヤル値を変更します。

カーソル [◀] [▶] [▲] [▼] ボタン

画面の切り替えや、カーソルを移動するときに使います。

10

[ONE TOUCH PIANO] ボタン

ZONE 1 にピアノ音色を呼び出します。ZONE 1 と ZONE 5 (EXT) 以外はオフになります。

お気に入りの音色も設定できます (STRATUP)。

ご注意!

このボタンを押してピアノ音色を呼び出すと、以前の設定は失われますのでご注意ください。

[PROGRAM] ボタン

PROGRAM を選びます。

BANK [UP] [DOWN] ボタン

PROGRAM や SCENE のバンクを変更します。

[EXP] ボタン

拡張音色用のバンクを選びます (P.15)。

[SCENE UTILITY] ボタン

SCENE UTILITY MENU 画面を表示します。

[EDIT] ボタン

プログラムの設定を変更することができます。

[TONE DESIGNER] ボタン

TONE DESIGNER 画面を表示します。

[KEY TOUCH] ボタン

キー・タッチを調節します。

[KEY RANGE] ボタン

キー・レンジを設定します。

11 TONE ボタン

各カテゴリーのトーンを選びます。

12

[WRITE] ボタン

現在の設定をプログラムに記憶します。

特定の画面 (System 画面など) でこのボタンを押すと、システム・パラメーター (P.26) を記憶します。

[STOP / RESET] ボタン

再生中のソングやリズムを停止します。

[RHYTHM / SONG] ボタン

ソングやリズムを選ぶ画面を表示します。

[PLAY] ボタン

ソングやリズムを再生します。

[SPLIT] ボタン

スプリット機能をオン／オフします。

鍵域を 2 つに分けて右側と左側で別の音色を演奏することができます。

また、このボタンと [TRANSDPOSE] ボタンを同時に押すと、デモ曲を聴くことができます。

[TRANSDPOSE] ボタン

移調して演奏できます。

13 ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー

ピッチ (音の高さ) を変化させたり、ビブラートをかけたりします。

ご注意!

トーンによっては、レバーを動かしたときの効果が異なるものがあります。また、このレバーによる効果は、トーンごとに決まっており、変更することはできません。

English

日本語

Deutsch

Français

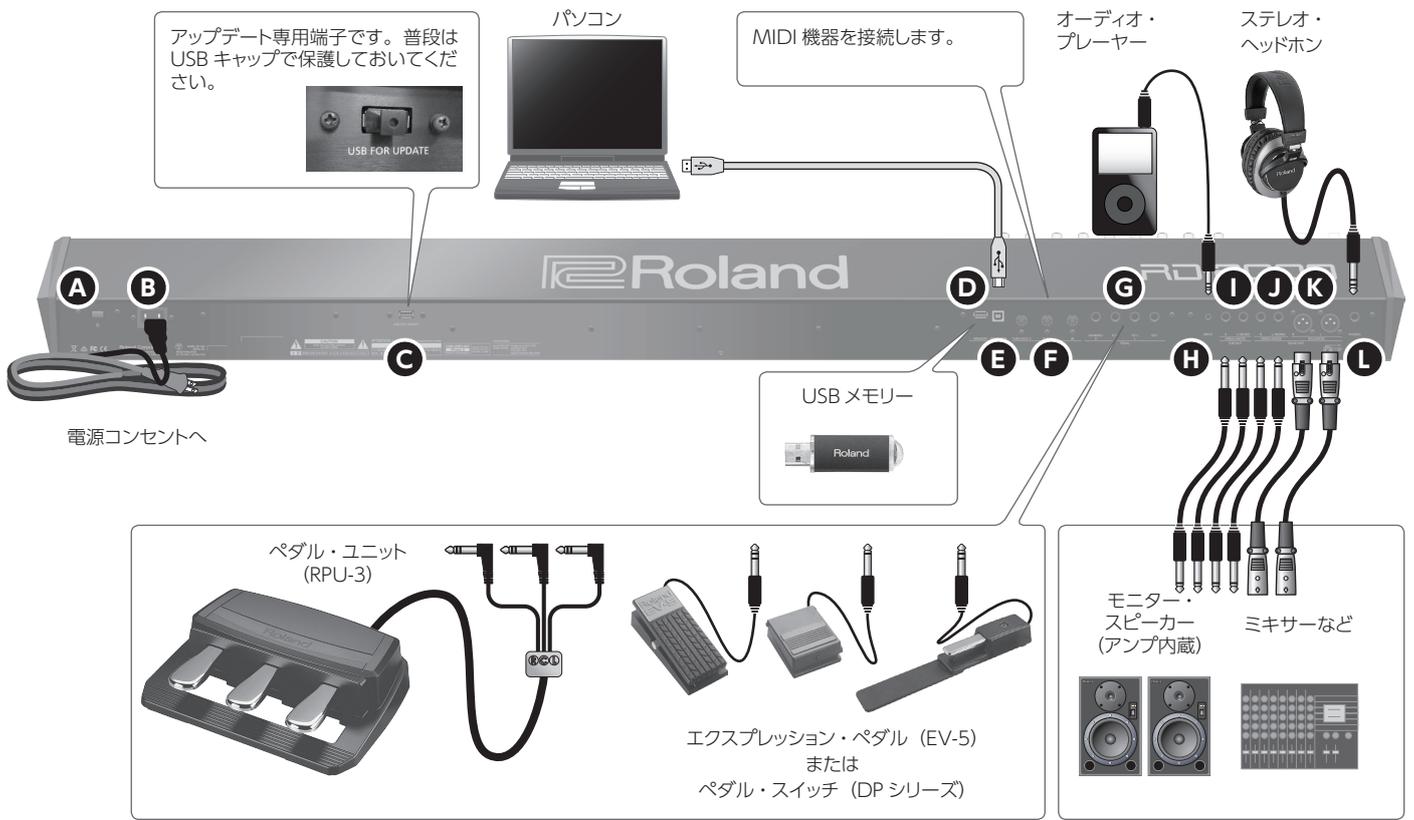
Italiano

Español

Português

Nederlands

リア・パネル (機器の接続)



A [ON] スイッチ

電源をオン/オフします。

11 ページ

B AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りを、すべての機器の電源を切ってください。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

C USB FOR UPDATE 端子

本機のバージョンアップをするときに使います。普段は USB キャップで保護しておいてください。

D USB MEMORY 端子

市販の USB メモリーまたはローランドが販売している USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。

E USB COMPUTER 端子

パソコンと接続して、演奏情報やオーディオ信号をやりとりします。

18 ページ

F MIDI 端子 (IN, OUT 1, THRU/OUT 2)

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。THRU/OUT 2 端子は、MIDI THRU または MIDI OUT を切り替えて使います (P.26)。

G PEDAL 端子 (DAMPER, FC1, FC2, EXT)

DAMPER 端子に付属のペダルを接続すると、ダンパー・ペダルとして使用することができます。

また、FC1、FC2、EXT 端子に接続したペダルにいろいろな機能を割り当てることができます (P.21)。

H INPUT 端子

オーディオ入力端子です。オーディオ・プレーヤーなどと接続します。

I SUB OUT 端子 (L/MONO、R)

オーディオ信号の出力端子です。モノで出力するときは、L/MONO 端子に接続してください。

19 ページ

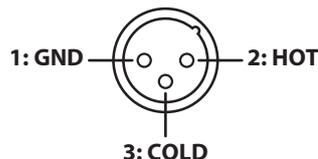
J MAIN OUT 端子 (L/MONO、R)

オーディオ信号の出力端子です。アンプなどと接続します。モノで出力するときは、L/MONO 端子に接続してください。

K MAIN OUT 端子 (L、R) (XLR タイプ)

オーディオ信号のバランス出力端子です。ミキサーなどと接続します。

※ MAIN OUT 端子のピン配置



L PHONES 端子

ヘッドホン接続します。

ヘッドホン接続しても、OUTPUT 端子や BALANCED OUT 端子からはオーディオ信号が出力されません。

電源を入れる

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. RD-2000 の音量を最小にします。
接続している外部機器の音量も最小にしてください。
2. [⏻] スイッチを押します。
電源が入り、ディスプレイが点灯します。
3. 接続している外部機器の電源を入れます。
4. 接続している外部機器の音量を調節します。
5. RD-2000 の音量を調節します。

電源を切る

1. RD-2000 の音量を最小にします。
接続している外部機器の音量も最小にしてください。
2. 接続している外部機器の電源を切ります。
3. [⏻] スイッチを押します。
電源が切れます。
※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の [⏻] スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く」(P.2) をお読みください。

自動で電源を切りたくない場合は、「オート・オフ」の設定をオフにしてください



本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。
自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。

ご注意!

- 電源が切れると編集集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

オートオフの設定を変える

1. MENU 画面で [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
System 画面が表示されます。
2. [Auto Off] を選び設定を変更します。

パラメーター [◀] [▶]	設定値 [DEC] [INC]	説明
Auto Off	Off	自動で電源を切らない設定にします。
	30min	30 分間操作をしないと、自動で電源が切れます。
	240min (工場出荷時)	240 分間 (4 時間) 操作をしないと、自動で電源が切れます。

3. オート・オフの設定を記憶する場合は、System 画面で [WRITE] ボタンを押します。

ご注意!

オート・オフ機能により電源が切れるとさまざまな編集集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。詳しくは、「音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト)」(P.23)、「システム設定を保存する」(P.26) をご覧ください。

「オート・オフ」で電源が切れたあとに電源を入れ直すときは

オート・オフで電源が切れたときは、[⏻] スイッチを切ったあと再び電源を入れてください。

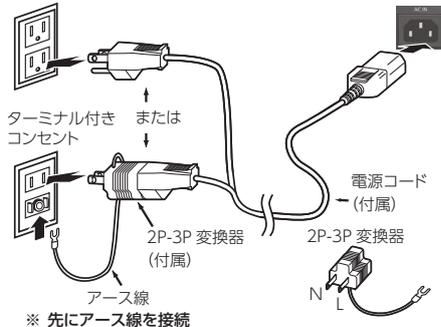
電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。

接地コンセント



- コンセントが接地コンセント (端子穴が 3 個) の場合、そのままコンセントにプラグを挿し込んでください。
 - コンセントがアースターミナル付コンセント (端子穴が 2 個) の場合、プラグに 2P-3P 変換器をつけ、アース接続後コンセントに挿し込みます。
- 警告:** アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースは必ず、電源プラグをコンセントから抜いてからはずしてください。コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

RD-2000 の概要

RD-2000 の基本構成

コントローラー部

鍵盤、ピッチ・バンド/モジュレーション・レバー、ホイール、パネル上のつまみ、スライダー、リア・パネルに接続したペダルなどが含まれます。キーを押す/離す、ダンパー・ペダルを踏むなどの演奏情報を MIDI メッセージに変換して、音源部や外部 MIDI 機器に送信します。

音源/エフェクト部

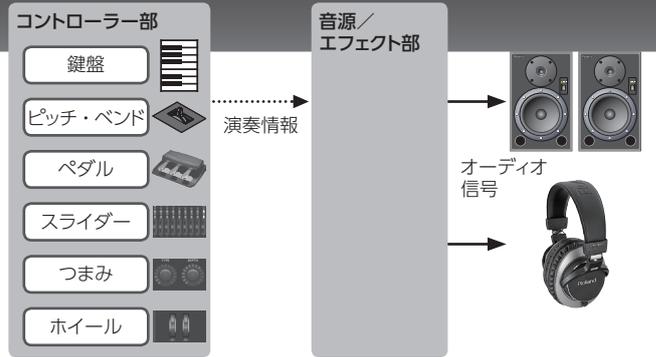
音を発生させたり、変化させたりする部分です。コントローラー部からの演奏情報をオーディオ信号に変換して、OUTPUT 端子や PHONES 端子から出力します。

V-Piano Technology 音源 (ZONE 1 のみ選択可能) (MD)

S01 から始まる音色で、ピアノを構造から再現する音源です。

ご注意!

本音源は Modulation FX、Tremolo/Amp Sim、Tone/Program Remain には対応していません。



SuperNATURAL (SN) / PCM 音源

楽器の種類や特徴を忠実に再現して発音する SuperNATURAL 音色や、さまざまな高品位の音色を収録し演奏できる音源です。本機では 1000 を超える音色を収録しています。

エフェクト

ZONE 1 ~ 4 には、各 ZONE で独立して設定できる Modulation FX と Tremolo/Amp Sim があります。また、ZONE で共通して使える Reverb、Delay、EQ もあります。

メモリーについて

プログラムなどの設定を記憶する場所をメモリーと呼びます。メモリーを機能別に整理すると、「一時的なメモリー」、「書き換えができるメモリー」、「書き換えができないメモリー」の 3 つに分けられます。

一時的なメモリー

テンポラリー・エリア

テンポラリー・エリアには、パネル上の TONE ボタンや PROGRAM ボタンで選んだトーンやプログラム、シーン、コントローラーの設定が呼び出されます。

鍵盤で演奏するときは、テンポラリー・エリアの設定で音が鳴ります。テンポラリー・エリアの設定は一時的なもので、電源を切ったり、他の設定を呼び出したりすると失われます。テンポラリー・エリアの設定を残しておきたいときは、書き換えができるメモリーに保存します。

書き換えができるメモリー

システム・メモリー

RD-2000 の動作環境を決めるシステム・パラメーターの設定を記憶しています。システム・パラメーターを記憶させるときは、システムの保存を実行します (P.26)。

ユーザー・メモリー

ユーザー・メモリーには、プログラムやシーンを記憶することができます (プログラム・ライト:P.23)。

USB メモリー

ユーザー・メモリーにあるプログラムをまとめて保存することができます (バックアップ・セーブ:P.27)。
USB メモリーは、オーディオ・レコーディングの記録場所としても使用されます。

書き換えができないメモリー

プリセット・メモリー

デモ曲や、トーンはプリセット・メモリーに記憶されており、書き換えはできません。

RD-2000

一時的なメモリー

テンポラリー・エリア
トーン/プログラム/シーン

書き換えができるメモリー

システム・メモリー

ユーザー・メモリー
プログラム
シーン

書き換えができないメモリー

プリセット・メモリー
トーン
デモ曲

USB メモリー

書き換えができるメモリー

USB メモリー
バックアップ・ファイル
オーディオ録音されたデータ

音の単位

トーン 音色を選んで演奏するのに最適です。

TONE ボタンで選ばれる音色を「トーン」と呼びます。トーンは、8 つの **ZONE (ZONE 1 ~ 8)** に割り当てて鳴らします。鍵盤から ZONE を同時に鳴らしたり、鍵域で分けて鳴らしたりすることができます。

Designer 機能 (P.21) でトーンをお気に入りの音に調整することもできます。調整したトーンは、プログラムに保存できます。また、トーンの中には、複数の打楽器音を集めた「リズム・セット」も含まれます。

リズム・セットでは、押さえる鍵盤 (ノート・ナンバー) によって異なった打楽器音が鳴るようにになっています。

プログラム 各種設定や複数の音色を組み合わせて記憶できます。

PROGRAM ボタンで選ばれる音色を「プログラム」と呼びます。

プログラムは、ZONE に割り当てられたトーンの設定や各 ZONE 共通の設定 (リバーブ、ディレイ、EQ など) をまとめて記憶したものです。プログラムは、お好みの状態を 300 個記憶することができます。

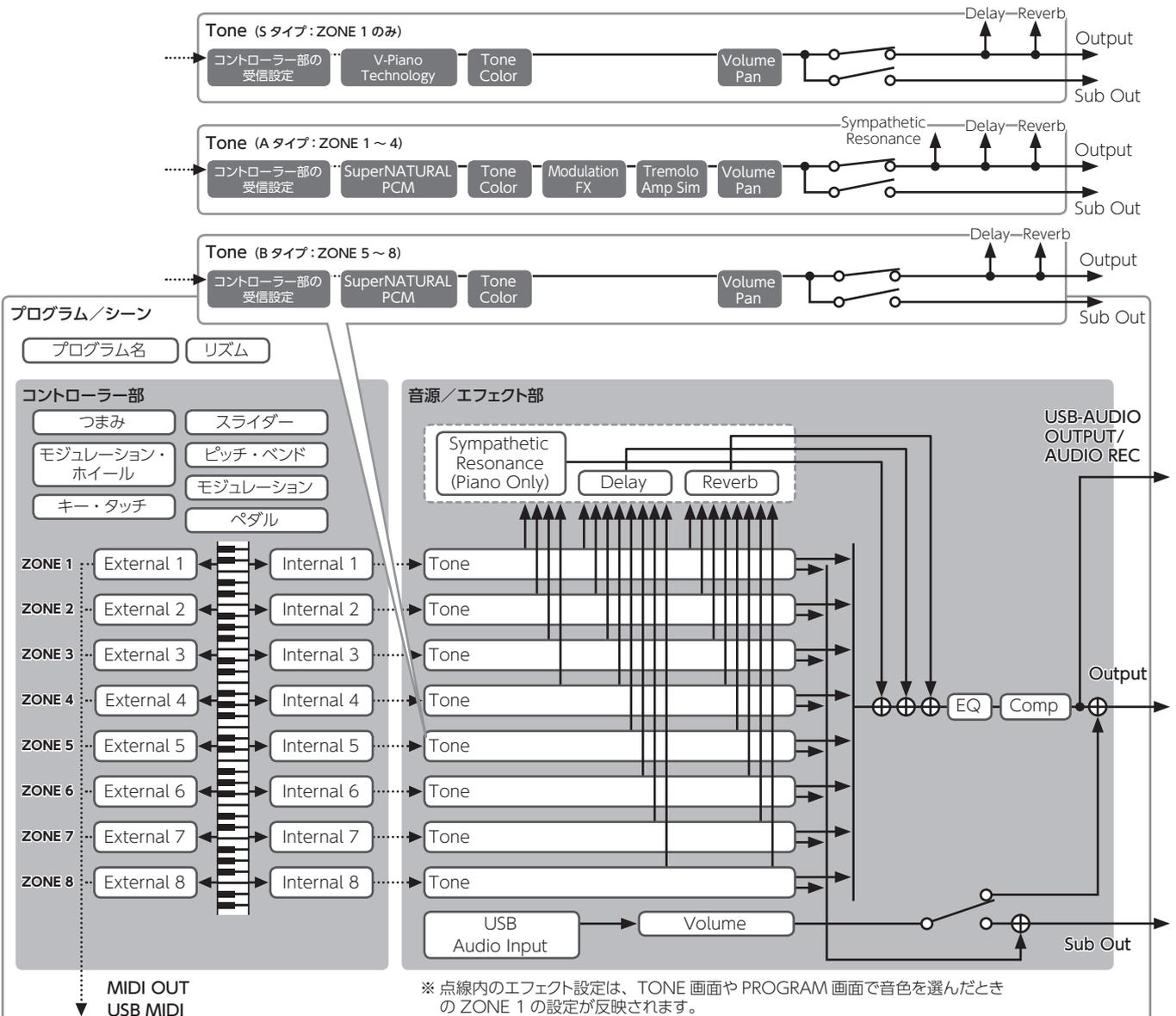
シーン お気に入りのトーンやプログラムをすぐ記憶して並べたり、外部 MIDI 機器を使ったりするのに最適です。

SCENE ボタンで選ばれる音色を「シーン」と呼びます。

シーンは、お気に入りの演奏状態をそのまま記憶することができます。保存したシーンは TONE ボタンから 10 個ずつ最大 100 個呼び出すことができます。

ライブの曲順でお気に入りの設定を並べて簡単に呼び出したり、外部機器の制御や設定をしたりすることもできます。

トーンやプログラムもそのまま記憶し、音色や設定を変更したり、呼び出す順番を入れ替えたりすることも簡単にできます。



操作ガイド

全体の音量を調節する

1. [MASTER VOLUME] つまみを回します。

ZONE ごとの音量を調節する

操作する ZONE を選ぶ

各種操作が有効になる ZONE を 1 つ選びます。

1. SELECT [S1] ~ [S8] ボタンを押します。

メモ

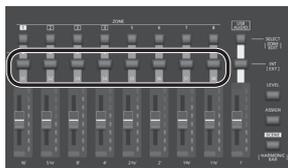
複数の ZONE を同時に選ぶことはできません。

各 ZONE のオン/オフを設定する

1. INT/EXT [S1] ~ [S8] ボタンを押して、各 ZONE のオン(点灯) / オフ(消灯)を設定します。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながら INT/EXT [S1] ~ [S8] ボタンを押すと、各 ZONE のつまみやスライダーの操作対象を (RD-2000: 赤点灯 ↔ 外部機器: 緑点灯) 切り替えることができます。



ご注意!

ZONE 5 ~ 8 にエフェクトをかけることはできません。
また ZONE 5 ~ 8 も INTERNAL ZONE に設定する場合、各コントローラーの情報が極端に多いと RD-2000 に大きな負荷がかかり、鍵盤からの演奏情報を処理しきれなくなることがあります。

各 ZONE の音量を調節する

1. スライダー [S1] ~ [S8] で各 ZONE の音量を調節します。

割り当てられた機能で音を変化させる (Mod WHEEL 1 / 2)

モジュレーション・ホイールにいろいろな機能が割り当てられます (P.21)。
演奏中にモジュレーション・ホイールを動かして、割り当てられた機能をコントロールします。



音の高さをリアルタイムに変化させる (ピッチ・ベンド・レバー)

鍵盤を弾きながらレバーを左に倒すとピッチが下がり、右に倒すとピッチが上がります。これをピッチ・ベンド効果といいます。



レバーを左または右に倒しながら奥に倒したときは、ピッチ・ベンドとモジュレーションの効果が同時に得られます。

ビブラートやダイナミクスをつける (モジュレーション・レバー)

レバーを向こう側に倒すとビブラートがかかります。これをモジュレーション効果といいます。



レバーを左または右に倒しながら奥に倒したときは、ピッチ・ベンドとモジュレーションの効果が同時に得られます。

ボタンを効かないようにする (パネル・ロック)

パネル・ロックをすると、ボタンやつまみの操作ができなくなります。ステージなどで、誤って設定を変えてしまうことがありません。

1. [MENU] ボタンを押しながら [ENTER] ボタンを押します。

パネル・ロックのポップアップ画面がしばらく表示されたあと消えて、TONE 画面、PROGRAM 画面の右上や SCENE 画面の左上にパネル・ロックを示すアイコンが表示されます。

2. パネル・ロックを解除するときは、[EXIT] ボタンを 2 回続けて押します。

移調して演奏する (トランスポーズ)

トランスポーズの設定は、C4 を基準に半音単位で -48 ~ 0 ~ +48 の範囲で設定できます。

1. [TRANSPOSE] ボタンを数秒間押し続けます。
現在の設定値が表示されます。



2. [TRANSPOSE] ボタンを押したまま [DEC] [INC] ボタンまたは鍵を押して、トランスポーズ量を設定します。
[TRANSPOSE] ボタンから指を離すと、画面は元に戻ります。
トランスポーズ量が設定されると、トランスポーズがオンになり、[TRANSPOSE] ボタンが点灯します。

メモ

- C4 (ド) の鍵を押したとき、トランスポーズ量は「0」になります。たとえば、「ド」の鍵を弾いたときに「ミ」の音が出るようにするには、[TRANSPOSE] ボタンを押しながら、E4 (ミ) の鍵を押します。このときのトランスポーズ量は「+4」になります。
- ZONE ごとに異なるトランスポーズ量を設定することができます。詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

ご注意!

トランスポーズ量が 0 のときは、[TRANSPOSE] ボタンを押しても点灯しません。

音色を選ぶ (TONE / SCENE / PROGRAM)

トーンを選ぶ

1. [SCENE] ボタンを消灯させます。
または、[One Touch Piano] ボタンを押します。
2. SELECT [S1] ~ [S8] ボタンを押して、操作する ZONE を選びます。
3. TONE ボタンのいずれかを押して、トーンの種類 (カテゴリー) を選びます。



4. [INC] [DEC] ボタンやバリュー・ダイヤルで、トーンを選びます。

メモ

- [SHIFT] ボタンを押しながら、[INC] [DEC] ボタンやバリュー・ダイヤルを使うと、トーンのカテゴリーの先頭音色を選べます。
- S01 から始まる音色は ZONE 1 専用の音色です。このピアノ音色は ZONE 2 ~ 8 で選ぶことはできません。

テン・キーでトーンを選ぶ

1. [SHIFT] ボタンを押しながら、[0] ~ [9] ボタンを押して、トーン番号を入力します。
トーン番号の入力中は値が点滅します。

2. [SHIFT] ボタンから指を離します。

トーン番号が確定します。

メモ

S 音色は [SHIFT] ボタンを押しながら [ONE TOUCH PIANO] ボタンを押して入力します。EXP A/B は [SHIFT] ボタンを押しながら [EXP] ボタンを押して入力します。

EXP カテゴリーを選ぶ

[EXP] ボタン



拡張音色用のバンクです。

A/B は [EXP] ボタンを押すと切り替わります。

音色ライブラリー・サイト Axial にある多彩な種類のトーンを、本機に追加することができます。

詳しくは、Axial サイトをご覧ください。

→ <http://axial.roland.com/>

プログラムを選ぶ

RD-2000 には A ~ O の 15 のバンクがあり、それぞれ 20 個のプログラムを保存することができます (合計 300 個)。

1. [PROGRAM] ボタンを押して、点灯させます。
2. BANK [UP] [DOWN] ボタンを押して、プログラムのバンク (A ~ O) を選びます。
3. [INC] [DEC] ボタン、バリュー・ダイヤルでプログラム番号を選びます。

テン・キーでプログラムを選ぶ

1. BANK [UP] [DOWN] ボタンを押して、プログラムのバンク (A ~ O) を選びます。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら [0] ~ [9] ボタンを押して、プログラム番号を入力します。
プログラム番号の入力中は値が点滅します。
3. [SHIFT] ボタンから指を離します。
プログラム番号が確定します。

シーンを登録する

1. シーンに登録したい設定やプログラムまたはトーンを選びます。
2. [SCENE] ボタンを押しながら BANK [UP] [DOWN] ボタンを押して登録先にしたいプログラムのバンクを選び、TONE ボタンを 1 つ押します。
現在選んでいるトーンやプログラムが、そのときの演奏状態のまま登録されます。

点灯しているボタン	すでにシーンが登録されています。
点滅しているボタン	シーンが登録されていません。

現在選んでいるシーンを他のボタンに登録したり、設定を変えて上書きしたりすることもできます。

シーンを呼び出す

よく使うプログラムなどの設定を最大 100 個記憶できます。各 TONE ボタンに 1 個ずつ登録することができます。1 バンクに 10 個登録できるので、瞬時に呼び出すことができます。

1. [SCENE] ボタンを押して、点灯させます。
2. 点灯している TONE ボタンのいずれかを押して、シーン (0 ~ 9) を選びます。

メモ

消灯している TONE ボタンは押しても選べません。

トーンを重ねる

TONE ボタンを押す順序に従って、最大 4 つの ZONE (ZONE 1 ~ 4 のみ) を重ねて鳴らすことができます。

1. TONE ボタンを 2 ~ 4 つ順番に重ねて押します。

ご注意!

直前の音色が編集されている場合、この操作を実行すると編集内容は失われます。大切な音色はあらかじめ保存しておいてください。

ZONE のトーンを変える

1. SELECT [S1] ~ [S8] ボタンを押して、ZONE を選びます。
選んだ ZONE のトーン番号にカーソルが移動します。
2. 「トーンを選ぶ」(P.14) の手順で、トーンを選びます。

鍵盤を 2 つの鍵域に分ける (スプリット)

1. [SPLIT] ボタンを押して、点灯させます。
鍵盤右側で ZONE 1 のトーン、鍵盤左側で ZONE 4 のトーンが鳴ります。



2. スプリットを解除するときは、[SPLIT] ボタンを押して消灯させます。

音域の分かれる位置を変える (スプリット・ポイント)

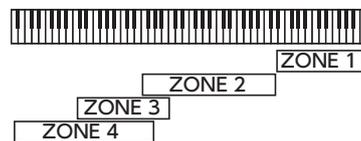
1. [SPLIT] ボタンを押したまま、スプリット・ポイントにしたい鍵を押します。
スプリット・ポイントが表示されます。
[SPLIT] ボタンから指を離すと画面が元に戻ります。
スプリット・ポイントの鍵は、ZONE 4 に含まれます。

ZONE 4 のトーンを変える

1. SELECT [S4] ボタンを押して、ZONE 4 を選びます。
2. 「トーンを選ぶ」(P.14) の手順でトーンを選びます。

メモ

KEY RANGE 機能を使うと、ZONE ごとに鍵域を自由に設定することができます。



各 ZONE の設定を変える

各 ZONE を、オン/オフどちらかに設定することができます。

1. INT/EXT ボタンが消灯するまで、ボタンを何度か押します。
ZONE が OFF になります。
2. もう一度 INT/EXT ボタンを押します。
ボタンが点灯し、ZONE がオンになります。
表示している機能が使えるようになります。

音に響きをつける (リバーブ)

リバーブをかけると、コンサート・ホールなどで演奏しているような心地よい響きが得られます。



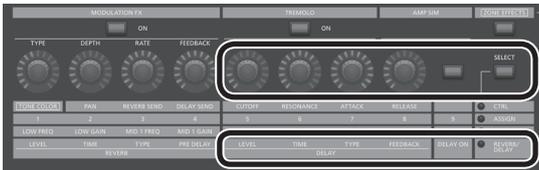
1. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンを何度か押して、「REVERB/DELAY」を選びます。
2. REVERB [TYPE] つまみを回して、リバーブ・タイプを選びます。
3. REVERB [LEVEL] [TIME] [PRE DELAY] つまみで、リバーブのかかり具合を調節します。

メモ

- ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンで「CTRL」を選ばると、「REV SEND」つまみでリバーブ・センド・レベルを調節できます。この値が「0」になっているときは、REVERB [LEVEL] ~ [PRE DELAY] つまみを回しても効果はかかりません。
➔ ZONE の設定 (ZONE EDIT) の [REV (Reverb Send Level)]
- [SHIFT] ボタンを押しながら、REVERB [LEVEL] ~ [PRE DELAY] つまみを回すと、Reverb 画面が表示されます。Reverb 画面では、リバーブのタイプをはじめ、リバーブに関するパラメーターを設定できます。

音にディレイをかける (ディレイ)

ディレイをかけると、音に立体的な広がりや厚みを持たせることができます。



1. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンを何度か押して、「REVERB/DELAY」を選びます。
2. [DELAY ON] ボタンを押して、点灯させます。
押すたびに、ディレイ効果のオン/オフが切り替わります。
3. DELAY [TYPE] つまみを回して、ディレイ・タイプを選びます。
4. DELAY [LEVEL] [TIME] [FEEDBACK] つまみでディレイのかかり具合を調節します。

メモ

ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンで「CTRL」を選ばると、「DLY SEND」つまみでディレイ・センド・レベルを調節できます。この値が「0」になっているときは、DELAY [LEVEL] ~ [FEEDBACK] つまみを回しても効果はかかりません。
➔ ZONE の設定 (ZONE EDIT) の [DLY (Delay Send Level)]

エフェクトをかける (モジュレーション FX)

MODULATION FX セクションでは、ZONE 1 ~ 4 においてモジュレーション系のエフェクトをはじめ、さまざまなエフェクトをかけることができます。



メモ

ZONE 5 ~ 8 では、エフェクトはかけられません。

1. [ZONE EFFECTS] ボタンを押して、点灯させます。
2. MODULATION FX セクションの [ON] ボタンを押して、点灯させます。
ボタンを押すたびに、エフェクトがオン/オフします。
3. MODULATION FX セクションの [TYPE] つまみで、エフェクトの種類を選びます。
モジュレーション FX で使えるエフェクトは「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。
4. MODULATION FX セクションの [DEPTH] [RATE] [FEEDBACK] つまみを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。

メモ

エフェクト・パラメーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。PDF の入手方法は表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。

※ Program Edit の「Pedal」を設定すると、ペダルにアサインすることができます。このとき、SYSTEM 設定の [Control Destination] が PROGRAM の場合は、ZONE の設定 (ZONE EDIT) で「MOD FX (Modulation FX Control Destination)」にチェックが付いている ZONE のトーンをコントロールすることができます。

トレモロをかける (トレモロ)

トレモロ・セクションでは、トレモロのかかる周期を変えたり、トレモロ効果の深さを調節したりすることができます。

メモ

トレモロは ZONE 1 ~ 4 のみかかります。ZONE 5 ~ 8 はかけられません。



1. [ZONE EFFECTS] ボタンを押して、点灯させます。
2. TREMOLO セクションの [ON] ボタンを押して、点灯させます。
ボタンを押すたびに、トレモロがオン/オフします。
3. TREMOLO セクションの [TYPE] つまみを回して、トレモロ波形を選びます。
4. TREMOLO セクションの [DEPTH] [RATE] つまみを回して、トレモロのかかり具合を調節します。

歪み具合を調節する (アンプ・シミュレーター)

AMP SIM セクションでは、音の歪み具合を調節することができます。



1. [ZONE EFFECTS] ボタンを押して、点灯させます。
2. AMP SIM セクションの [ON] ボタンを押して、点灯させます。ボタンを押すたびに、アンプ・シミュレーターがオン/オフします。
3. AMP SIM セクションの [DRIVE] つまみを回して、音の歪み具合を調節します。

メモ

トレモロやアンプ・シミュレーターは Program Edit の [Pedal] を設定すると、ペダルにアサインすることができます。このとき、SYSTEM 設定の [Control Destination] が PROGRAM の場合は、ZONE の設定 (ZONE EDIT) で [TR/AMP (Tremolo/Amp Control Destination)] にチェックが付いている ZONE のトーンをコントロールすることができます。

トレモロやアンプ・シミュレーターの種類を変える

1. TREMOLO [ON/OFF] ボタンまたは AMP SIM [ON/OFF] ボタンを押しながら、[INC] [DEC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルを回します。

メモ

トレモロやアンプ・シミュレーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF)をご覧ください。PDF の入手方法については、表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。

音の各帯域のレベルを調節する (イコライザー)

RD-2000 には、5 バンドのイコライザーが搭載されています。



1. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンで [EQ] を選びます。
2. [EQ ON] ボタンを押して、点灯させます。
3. つまみで各音域のレベルを調節します。

ご注意!

つまみの設定によっては、音が歪むことがあります。そのときは、Input Gain を調節してください。

メモ

- プログラムを変えても、イコライザーの設定を変えないようにすることができます。「システムの設定」の EQ Mode (P.26) を「REMAIN」に設定してください。
- イコライザーについて、詳しくは『エフェクト・パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。PDF の入手方法については、表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。

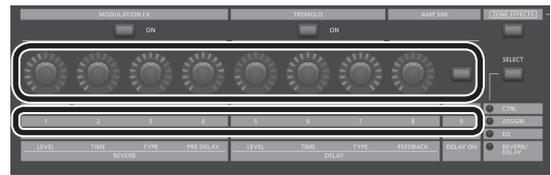
つまみに機能を割り当ててコントロールする (アサイン)

つまみやボタンに機能を割り当てる

1. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンで [ASSIGN] を選びます。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら ASSIGN [1] ~ [8] つまみのいずれかを回します。または、[SHIFT] ボタンを押しながら ASSIGN [9] ボタンを押します。

Assign1-9 画面が表示されます。ASSIGN [1] ~ [8] つまみと ASSIGN [9] ボタンに割り当てる機能を設定できます。

つまみやボタンに割り当てた機能を使う



1. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンで [ASSIGN] を選びます。
2. ASSIGN [1] ~ [8] つまみを回して、効果のかかり具合を調節します。

ASSIGN [9] ボタンを押すと、割り当てた機能の効果が切り替わります。

ご注意!

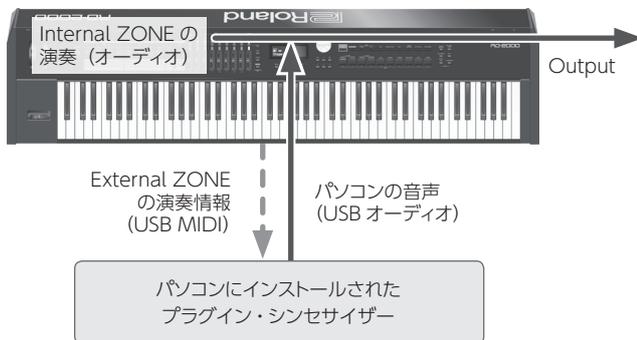
SELECT で選ばれている ZONE にのみ、各効果がかけられます。SYSTEM 設定の [Control Destination] を PROGRAM にした場合、ZONE の設定 (ZONE EDIT) の [A1 ~ A9 (Assign 1 ~ 9 Control Switch)] のチェック・ボックスにチェックがない ZONE は、各 ASSIGN つまみや ASSIGN [9] ボタンを操作しても、効果はかかりません。

メモ

選ばれているプログラムやトーンの状態によっては、割り当てる機能が対応しておらず期待する効果が得られない場合があります。音色を切り替えたときに呼び出される値は、初期値または直前に操作した値のどちらかが選ばれます。

プラグイン・シンセを使ってライブ演奏する

パソコンにインストールされているプラグイン・シンセサイザーを、RD-2000 で演奏します。



パソコンと接続する

RD-2000 をお使いになるためには、パソコンで以下の URL からドライバーをダウンロードしてインストールする必要があります。インストールについて詳しくは、ローランド・サポート・ページをご覧ください。

→ <https://www.roland.com/jp/support/>

USB ドライバーを設定する

USB COMPUTER 端子を使ってパソコンと接続するときに、使用する USB ドライバーを設定します。

1. MENU 画面で [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
2. [USB Driver] パラメーターを、[VENDER] に設定します。

パラメーター [◀] [▶]	設定値 [DEC] [INC]	説明
USB Driver	VENDER	ローランドのホームページからダウンロードした USB ドライバーをお使いのときに選びます。
	GENERIC	パソコンに標準添付の USB ドライバーをお使いのときに選びます。 ※ MIDI のみ使えます。

3. 設定を保存します。
→ 「システム設定を保存する」 (P.26)
4. RD-2000 の電源を入れ直します。

MIDI コントローラー機能を使う

RD-2000 の MIDI OUT 端子、USB MIDI OUT から、本体のつまみ操作や鍵盤の情報を MIDI メッセージとして出力できます。

1. MIDI 出力させたい ZONE の Select ボタンを押します。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら、選んだ ZONE の INT/EXT ボタンを何度か押して緑色に点灯させます。
ZONE の設定に従い MIDI メッセージを出力します。
消灯、もしくは赤色の場合は MIDI メッセージは出力しません。
3. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンを何度か押して、[CTRL] または [ASSIGN] を選びます。
つまみ [1] ~ [8] の情報は、[CTRL]、[ASSIGN] が選ばれているときに出力されます。
[EQ]、[REVERB/DELAY] を選んでいるときは、MIDI 情報は出力されません。
4. スライダーの [LEVEL] ボタン、または [ASSIGN] ボタンを点灯させます。
スライダー [S1] ~ [S8] は、[LEVEL] ボタン、[ASSIGN] ボタンに応じて MIDI 情報を出力します。

メモ

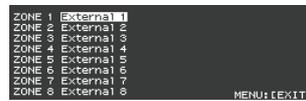
ZONE EDIT (P.21) の [EXTERNAL] タブで、詳細設定をすることができます。

5. 設定した内容はシーンやプログラムに登録します。
→ 「シーンを登録する」 (P.15)
→ 「音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト)」 (P.23)

External ZONE に名前を付ける (Ext Label Edit)

External ZONE にラベルをつけることができます。各画面で外部機器名として表示されます。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで [Ext Label Edit] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. 名前を付けたい ZONE を選び、[ENTER] ボタンを押します。



キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。

4. 名前を付けて [ENTER] ボタンを押します。



ネーム入力については、「音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト)」 (P.23) をご覧ください。

確認のメッセージが表示されます。

キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。

外部シーケンサーに録音するのに最適な設定にする (Rec Mode)

外部シーケンサーに INTERNAL PART を録音するときは、Rec Mode 機能を使うと便利です。

Rec Mode 機能を使うと、ZONE やチャンネルの設定をせずに外部シーケンサーでの録音に最適な設定にすることができます。

1. MENU 画面で [Local Control] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
2. Rec Mode のパラメーターを設定します。

パラメーター [◀] [▶]	設定値 [DEC] [INC]	説明
Rec Mode	OFF, ON	ON にすると、レイヤーの設定に関係なく、MIDI OUT 端子からの出力が録音に適した設定になります。通常は OFF にしておきます。 (電源投入時は OFF)

USB オーディオを使う

RD-2000 はパソコンなどの機器と USB 接続して、オーディオ信号を扱うことができます。

USB オーディオ機能を使うためには、「VENDER」ドライバーをインストールしてください。

→ 詳しくは「パソコンと接続する」(P.18) をご覧ください。

USB オーディオ入力の調整

USB 接続したパソコンなどの機器から入力されるオーディオの設定をします。

1. ZONE の SELECT [USB-AUDIO] ボタンを押します。
USB-AUDIO メニューが表示されます。
2. カーソル・ボタンで「USB Audio Input Switch」を選びます。
3. [DEC] [INC] ボタン、バリュー・ダイヤルで値を「ON」に変更します。
接続した機器からのオーディオ入力が、オンになります。
4. カーソル・ボタンで「USB Audio Input Volume」を選び、[DEC] [INC] ボタンやバリュー・ダイヤルで入力レベルを調節します。

メモ

「USB Audio In/Out Select」が IN の場合はスライダで値を変更することもできます。

USB オーディオ出力の調整

USB 接続したパソコンなどの機器に、本機のオーディオを出力します。

1. ZONE の SELECT [USB-AUDIO] ボタンを押します。
USB-AUDIO メニューが表示されます。
2. カーソル・ボタンで「USB Audio Output Switch」を選びます。
3. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、値を ON に変更します。
接続した機器へのオーディオ出力がオンになります。
4. カーソル・ボタンで「USB Audio Output Level」を選び、[USB-AUDIO] スライダで出力レベルを調節します。
[DEC] [INC] ボタン、バリュー・ダイヤルで値を変更することもできます。

USB オーディオをパネルの操作子で調整する

パネル上のボタン、つまみ、スライダなどの操作対象を入力/出力のどちらにするか選びます。

1. ZONE の SELECT [USB-AUDIO] ボタンを押します。
USB-AUDIO メニューが表示されます。
2. カーソル・ボタンで「USB Audio In/Out Select」を選びます。
3. [DEC] [INC] ボタン、バリュー・ダイヤルで設定を変更します。
設定によって INT/EXT ボタンの色が変わります。

USB Audio In/Out Select	[INT/EXT] ボタンの色
INPUT (入力)	緑
OUTPUT (出力)	赤

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながら、ZONE の INT/EXT ボタンを押して変更することもできます。

SUB OUT を使う

RD-2000 はオーディオ信号の出力先として、MAIN OUT 端子のほかに SUB OUT 端子を備えています。

目的に応じて ZONE や USB オーディオからのオーディオ信号を出力することができます。

ご注意!

- SUB OUT へ出力されるオーディオ信号に MASTER VOLUME は効きません。
オーディオ・レベルは ZONE ごとのレベル設定で出力されます。
- SUB OUT へ出力されるオーディオ信号に、リバーブとディレイは効きません。

ZONE ごとの設定

1. [SHIFT] ボタンを押しながら SELECT [1] ~ [8] ボタンを押します。
ZONE EDIT 画面が表示されます。
2. カーソル・ボタンで「INTERNAL」の「VOL」タブを選びます。
3. カーソル・ボタンで変更したい項目を選び、[DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで値を選びます。

MAIN	MAIN OUT 端子からオーディオ信号を出力します。
SUB	SUB OUT 端子からオーディオ信号を出力します。

4. 設定した ZONE の出力レベルを、スライダで調整します。

USB オーディオの設定

1. ZONE の SELECT [USB-AUDIO] ボタンを押します。
USB-AUDIO メニューが表示されます。
2. カーソル・ボタンで「USB Audio Output Assign」を選び、[DEC] [INC] ボタン、バリュー・ダイヤルで値を選びます。

MAIN	MAIN OUT 端子から USB オーディオ信号を出力します。
SUB	SUB OUT 端子から USB オーディオ信号を出力します。

3. カーソル・ボタンで「USB Audio In/Out Select」を選び、[DEC] [INC] ボタン、バリュー・ダイヤルで「IN」を選びます。
4. USB オーディオの出力レベルを、スライダで調整します。

MAIN OUT 端子から一時的に出力する

SUB OUT 端子から出力するオーディオ信号を、MAIN OUT 端子から出力することもできます。

ご注意!

- SUB OUT 端子に設定した ZONE には、リバーブやディレイは効きません。
- [MIX] に設定すると、SUB OUT 端子から音が出なくなります。
- [MIX] に設定すると、MASTER VOLUME が効くようになります。

1. MENU 画面で「SYSTEM」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SYSTEM EDIT 画面が表示されます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで、「SYSTEM」タブを選びます。
3. カーソル・ボタンで「Output Mix/Parallel」を選び、[INC] [DEC] ボタン、バリュー・ダイヤルで値を選びます。

MIX	設定に関係なく MAIN OUT 端子からオーディオ信号を出力します。
PARALLEL	設定により MAIN OUT 端子、SUB OUT 端子のそれぞれからオーディオ信号を出力します。

音色をエディットする

音のキャラクターを変化させる (トーン・カラー)

[TONE COLOR] つまみを回すと、音色ごとに音質や音像などを変化させることができます。



1. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンで、「CTRL」を選びます。
2. [TONE COLOR] つまみで、効果のかけ具合を調節します。

メモ

- 効果によって、ポップアップ表示が異なります。
- トーンやプログラムを選ぶと、各トーンが持っている Tone Color の初期値に戻ります。

ご注意!

つまみを回して効果が変わる対象は、PROGRAM ごとに指定することができます。その場合は、System 設定で「Control Destination」を「PROGRAM」に切り替えてから、ZONE の設定 (ZONE EDIT) の「TON CLR (Tone Color Control Destination)」で効果を変更したい ZONE を選んでください。

メモ

調整した音色は、[WRITE] ボタンでプログラムに保存することができます (P.23)。

トーン・カラーの主な効果

- Stereo Width & Pan Key Follow
- Morphing
- Boost
- Harmonic Bar

つまみを使って音作りをする

RD-2000 は、簡単な操作で音色を作ることができます。実際に例に挙げて、RD-2000 で音を作るための操作と特徴を説明します。

音色を選ぶ

1. TONE 画面 (P.7) で [DEC] [INC] ボタンやバリュー・ダイヤルを使って、音色 0069 「Tine E.Piano」を選びます。



Pops や Jazz などよく使用される、とろけるような心地よい E. ピアノのトーンが選ばれます。

音質を調整する

2. ZONE EFFECTS [SELECT] ボタンを何度か押して、CTRL 欄の LED を点灯させ、[TONE COLOR] つまみを一番左に回してから、徐々に右に回します。



ポロポロというやわらかいアタックの音から、徐々に鋭いアタックの音に変わっていき、最後にはとてもきらびやかな音に変化していきます。

お好みの音質に調整してください。

トレモロを調整する

3. [ZONE EFFECT] ボタンを押して、点灯させます。
4. TREMOLO [ON] ボタンを点灯させ ON にし、音に左右の揺らぎを与えるトレモロ効果を調整します。



TREMOLO [RATE] つまみを回すと、音が左右に動くスピードが変わります。

TREMOLO [DEPTH] つまみを回すと、音が左右に動く振幅が変わります。演奏する曲に合った状態に調整します。

トレモロが不要の場合は、TREMOLO [ON/OFF] ボタンを消灯して OFF にします。

アンプ・シミュレーターを調整する

5. AMP SIM [ON] ボタンを点灯させ ON にし、AMP SIM [DRIVE] つまみを回します。



つまみを右に回すほど、音に歪みが加わっていきます。

激しく歪ませて荒々しい音にするのも良いですが、隠し味として、うっすらと歪ませるのも良いかもしれません。

モジュレーション FX を調整する

6. MODULATION FX [ON] ボタンを点灯させ ON にします。



エフェクトをかけることができます。

MODULATION FX [RATE] つまみと MODULATION FX [DEPTH] つまみでお好みのセッティングに調整してください。

MODULATION FX [TYPE] つまみで MODULATION FX を切り替えることができます。

作った音色を保存する

7. お好みの音色ができあがったら、プログラムに保存します。

- 「音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト) (P.23)

次からは、保存したプログラムを選ぶだけで、お好みの音色をすぐに演奏することができます。

プログラムをエディットする (プログラム・エディット)

1. PROGRAM 画面で [EDIT] ボタンを押します。



PROGRAM EDIT MENU 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで設定したい項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

各項目の設定画面が表示されます。

プログラム・エディット・メニュー

Zone Edit	各 ZONE (1 ~ 8) の設定をします。
Key Touch	鍵盤のタッチ感を設定します。
Pedal	ペダルの設定をします。
Assign	モジュレーションホイールやスライダー、ASSIGN [1] ~ [8] つまみと ASSIGN [9] ボタンのはたらきを設定します。
Reverb	リバーブの設定をします。
Delay	ディレイの設定をします。
EQ	イコライザーの設定をします。

- プログラム・エディットについて詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。PDF の入手方法は表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。

3. 設定したいパラメーターを選び、[DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで値を変更します。

[EXIT] ボタンを押すと、PROGRAM EDIT MENU 画面に戻ります。

4. 手順 2 ~ 3 を繰り返します。

5. 設定が終わったら、[EXIT] ボタンを何回か押して TONE 画面または PROGRAM 画面に戻ります。

ご注意!

設定を変更すると、PROGRAM 画面や TONE 画面に「EDITED」マークが表示されます。



「EDITED」が表示された状態で電源を切ったり、他のプログラムを選んだり、TONE 画面で他のトーンを選んだりすると、設定変更は取り消されます。設定を残しておきたいときは、[WRITE] ボタンを押してプログラムに保存してください (P.23)。

トーンをエディットする (デザイナー)

トーンは、デザイナー機能を使うことでよりきめ細かな音色の設定ができます。

1. SELECT [S1] ~ [S8] ボタンで ZONE を選び、[TONE DESIGNER] ボタンを押します。



選んだ ZONE の TONE DESIGNER MENU 画面 (TWOrgan 音色の場合は Tone Wheel & Designer Menu 画面) が表示されます。

デザイナー・メニューでは、Tone について設定したい大項目を選びます。

2. カーソル・ボタンで設定したい項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

各項目の設定画面が表示されます。

デザイナー・メニュー

Piano Designer (一部のピアノ音色のみ)	ピアノのさまざまな音の要素を調節することにより、好みのピアノの音を作ることができます。
Tone Designer (一部のピアノ音色以外)	音色の詳細設定をします。音色によって、設定できるパラメーターが変わります。
Indiv. Voicing (一部のピアノ音色のみ)	鍵ごとの音程、音量、音質を調整します。
Sym. Resonance (一部のピアノ音色のみ)	ダンパー・ペダルを踏んだときの共鳴音 (シンパセティック・レゾナンス) を調節します。
Modulation FX	Modulation FX に関するパラメーターを設定できます。
Tremolo /AMP Sim	トレモロ、アンプ・シミュレーターに関するパラメーターを設定できます。
TONE WHEEL&Designer Menu (TW-Organ 音色のみ)	TW-Organ 音色を調整します。

- デザイナーについて、詳しくは『エフェクト・パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。PDF の入手方法については、表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。

メモ

音色の種類によって、設定できる項目が異なります。

ご注意!

設定を変更すると、PROGRAM 画面や TONE 画面に「EDITED」マークが表示されます。



「EDITED」が表示された状態で電源を切ったり、他のプログラムを選んだり、TONE 画面で他のトーンを選んだりすると、設定変更は取り消されます。設定を残しておきたいときは、[WRITE] ボタンを押してプログラムに保存してください (P.23)。

オルガンの音を作る

ご注意!

この設定は TW-Organ 音色を選んでいるときのみ操作が可能です。

オルガンには、ハーモニック・バーという 9 本のバーを前後にスライドさせて、その組み合わせでさまざまな音色を作るものがあります。各バーには異なるフィートが割り当てられていて、フィートによって音の高さが決まっています。

RD-2000 は、このハーモニック・バーを使った音作りをシミュレートし、LAYER LEVEL スライダーの操作でオルガン音色を作ることができます。

「フィート」とは

フィートは、もともとパイプ・オルガンのパイプの長さ由来します。各鍵盤の本来の音の高さ(基音)を生み出すパイプの長さは 8 フィートとされています。パイプの長さを半分に縮めると 1 オクターブ高いピッチを生み出し、逆にパイプの長さを倍にすると 1 オクターブ低いピッチを生み出します。

つまり、基音である 8' の 1 オクターブ下が 16'、1 オクターブ上が 4'、さらにその 1 オクターブ上が 2' になります。

1. TW Organ 音色 (🎹アイコンが表示されている音色) が割り当てられた ZONE を SELECT [S1] ~ [S8] ボタンで選び、[SHIFT] ボタンを押しながら [SCENE] ボタンを押します。



選んだ ZONE の Tone Wheel & Designer Menu 画面が表示されます。

2. LAYER LEVEL スライダーを動かします。

画面の表示と連動して音色が変わります。

カーソル [◀] [▶] ボタンで、パーカッション・スイッチのグループを切り替えることができます。

メモ

Percussion (パーカッション) は、音の立ち上がり部分にアタック感のある音を加えて、音にメリハリを付けます。値によって立ち上がりの音色が変わります。

パラメーター [◀] [▶]	設定値 [DEC] [INC]	値解説
Percussion Switch	OFF	パーカッションがつかせません。
	2nd	押した鍵盤の高さより 1 オクターブ高い音のパーカッションが鳴ります。
Percussion Volume	3rd	押した鍵盤の高さより 1 オクターブと 5 度高い音のパーカッションが鳴ります。
	Soft	パーカッションの音が小さくなり、ハーモニック・バーは通常の音量になります。
Percussion Decay	Normal	パーカッションは通常の音量になり、ハーモニック・バーの音が小さくなります。
	Slow	パーカッションの減衰時間が長くなります。アタック感がやわらかくなります。
	Fast	パーカッションの減衰時間が短くなります。アタック感のある、鋭い音になります。

ご注意!

パーカッションをオンにすると、ハーモニック・バーの 1' の音は出なくなります。

メモ

- カーソル [◀] [▶] ボタンで、カーソルを Modulation FX、Tremolo/Amp Simulator のメニュー項目に移動させることもできます。
- Modulation FX と Tremolo/Amp Simulator にカーソルがあるときに、[ENTER] ボタンを押すと、各項目の設定画面に移動することができます。エフェクト・パラメーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。PDF の入手方法については、表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。
- TW-Organ 音色を選んでいるときに [TONE COLOR] つまみを回すと、すべてのハーモニック・バーを同時に動かすことができます。

オルガン音色のうねりを変える (ロータリー効果)

Tone Wheel & Designer Menu 画面を表示しているときは、ピッチ・バンド・レバーでロータリー効果のうねりの速さを切り替えることができます。ロータリー効果とは、オルガンの音に回転スピーカーを使ったときのようなうねりを付ける効果のことです。

ピッチ・バンド・レバーを左右に動かすと、動かす方向に関係なく、ロータリー効果の速い/遅いが交互に設定されます。

メモ

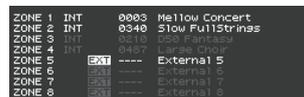
このピッチ・バンド・レバーの設定は Tone Wheel & Designer Menu 画面でのみ有効です。

各 ZONE の状態を表示する (ZONE の詳細画面)

ZONE の詳細画面は、各 ZONE の設定を一覧表示します。

1. トーン画面やプログラム画面、シーン画面のときに [Enter] ボタンを押します。

ZONE 1 ~ 8 の設定が表示されます。



明るい文字: ZONE が ON になっています。

暗い文字: ZONE が OFF になっています。

2. [EXIT] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

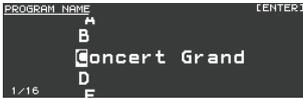
メモ

ZONE の詳細画面では設定を変更することができません。

画面を表示させたまま、音色を変更したり、モードを変えたりすると画面は閉じられて、必要な画面表示が変わります。

音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト)

1. [WRITE] ボタンを押して、点灯させます。
PROGRAM NAME 画面が表示されます。



2. カーソル [◀] [▶] ボタンで、文字を入力したい位置にカーソルを動かします。
3. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルを使って、名前を入力します。

操作	説明
[SHIFT] + [◀] ボタン	一文字削除 (DELETE)
[SHIFT] + [▶] ボタン	一文字の空白を挿入 (INSERT)
[▲] [▼] ボタン	大文字と小文字が切り替わる

4. 手順 2 ~ 3 を繰り返して、名前を入力します。
5. 名前を入力し終えたら、[ENTER] ボタンを押します。
6. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、記憶先のプログラム番号を選びます。



7. 保存先が決定したら、[ENTER] ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。
8. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
プログラムに保存されます。

ご注意!

画面に「Executing...」と表示されている間は、決して電源を切らないでください。

起動時に選ばれる音色を設定する (STARTUP)

RD-2000 をお気に入りの状態 (音色) で起動させることができます。

1. お好きな音色を選びます。
TONE の選びかた → 「トーンを選ぶ」 (P.14)
PROGRAM の選びかた → 「プログラムを選ぶ」 (P.15)

メモ

STARTUP に登録すると、[ONE TOUCH PIANO] ボタンを押したときも呼び出されます。
PROGRAM を登録しても、TONE として呼び出されます。
PROGRAM を登録すると、PROGRAM NAME は破棄されます。

2. [WRITE] ボタンを押しながら、[ONE TOUCH PIANO] ボタンを押します。
3. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
現在の設定が STARTUP に保存されます。
次に起動するときは、保存した STARTUP の状態 (音色) で起動します。

プログラムの順番を変える (プログラム・スワップ)

プログラムの順番を、お好みの順番に並び替えることができます。
ライブ演奏などで演奏する順序で並び替えをしておくくと便利です。

1. MENU 画面から、[Program Utility] → [Swap] を選びます。
Program Swap 画面が表示されます。



ご注意!

以下の状態では、プログラム・スワップ機能が使えません。

- Menu 画面、Write 画面、Demo 画面が表示されている。
- RHYTHM、AUDIO PLAY、AUDIO REC が動作している。

2. [INC] [DEC] ボタン、バリュー・ダイヤルで、入れ替え先のプログラムを変更できます。
カーソルで、入れ替え元のプログラムを選び、他のプログラムに変更することもできます。
3. [ENTER] ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。



4. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押してスワップを実行します。
必要に応じて手順 2 ~ 4 を繰り返します。
プログラム・スワップをキャンセルする場合は、[EXIT] ボタンを押します。

メモ

プログラム・スワップが終了すると、入れ替え元のプログラム番号が選ばれます。

ご注意!

画面に「Executing...」と表示されている間は、決して電源を切らないでください。

多彩な機能を使って演奏する

リズムを鳴らす

1. [RHYTHM/SONG] ボタンを押して、点灯させます。
Song または Rhythm 画面が表示されます。



[RHYTHM/SONG] ボタンを押すたびに、Song 画面と Rhythm 画面が切り替わります。

2. [RHYTHM/SONG] ボタンを何度か押して、RHYTHM 画面を表示させます。
3. [PLAY] ボタンを押して、点灯させます。
リズムが鳴り始めます。
[STOP/RESET] ボタンを押すと、リズムが止まります。

ご注意!

リズムを鳴らしているときは、[SONG/RHYTHM] ボタンを押しても Song 画面に切り替わりません。

リズムのパターンを変える

1. Rhythm 画面で、カーソルを画面のリズム番号に移動させます。
2. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルでパターンを選び、[ENTER] ボタンを押します。



リズム・パターンについて、詳しくは『サウンド・リスト』(PDF) をご覧ください。PDF の入手方法については、表紙の「PDF マニュアルの入手方法」をご覧ください。

メモ

リズムのパターンごとに、おすすめのドラム・キットが選ばれます。

リズムのテンポや音量を変える

1. Rhythm 画面で、カーソルを Tempo または Rhythm Volume に移動させます。
2. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、テンポやリズムの音量を変えます。



SUB OUT に出力する

1. Rhythm 画面で、カーソルを Rhythm Output Assign に移動させます。
2. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、出力先を変えます。

オーディオを録音する

USB メモリーを接続する

1. USB メモリー (別売) を、本体背面にある USB MEMORY 端子に接続します。

録音の準備

ご注意!

オーディオ録音中は、USB メモリーを抜かないでください。USB メモリー内のデータがすべて失われる可能性があります。

1. 演奏するトーンやプログラムを選びます (P.14、P.15)。
2. [RHYTHM/SONG] ボタンを何度か押して、SONG 画面を表示させます。
3. [SHIFT] ボタンを押しながら [RHYTHM/SONG] ボタンを押して、録音待機状態にします。
リズムが鳴っている場合は停止します。[RHYTHM/SONG] ボタンが点灯、[PLAY] ボタンが点滅します。
録音を中止したいときは、[STOP/RESET] ボタンを押します。

録音を始める

1. [PLAY] ボタンを押します。
[PLAY] ボタンが点灯し、録音が始まります。

録音を止める

1. [STOP/RESET] ボタンを押します。
録音が止まり、USB メモリーに録音データが保存されます。

録音されるオーディオ・ファイル形式

拡張子	WAV
サンプリング周波数	44.1kHz
ビット数	16ビット

録音したデータを削除する

1. [PLAY] ボタンを押して、録音した曲を試聴します。
[STOP/RESET] ボタンを押すと、曲の再生が停止します。
2. Song 画面でカーソルを Song Delete に合わせて [ENTER] ボタンを押します。
3. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

USB メモリーについて

新しい USB メモリーを使う場合は、まず RD-2000 で初期化 (フォーマット) してください。詳しくは「メモリーを初期化する (フォーマット)」(P.26) をご覧ください。

ご注意!

- 本体の電源を入れたまま、USB メモリーの抜き差しをしないでください。本体や USB メモリー内のデータが失われる可能性があります。
- 市販の USB メモリーまたはローランドが販売している USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。

USB メモリーのオーディオ・ファイルを再生する

メモ

- USB メモリーに多数のソング・ファイルがある場合、読み込み
に時間がかかることがあります。
- ファイル名には半角の英数字 (1 バイト) を使ってください。
- 1 つのフォルダーにつき最大 200 ファイルまで認識します。

再生可能な WAV 形式ファイル

サンプリング周波数	44.1kHz
ビット数	16 ビット

※ オーディオ・ファイルの Play Speed や Playback Transpose
を変更すると、RD-2000 に大きな負荷がかかり、鍵盤からの演
奏情報を処理しきれなくなることがあります。

再生する

1. [RHYTHM/SONG] ボタンを押して、点灯させます。
Rhythm または Song 画面が表示されます。
[RHYTHM/SONG] ボタンを押すたびに、RHYTHM 画面と SONG
画面が切り替わります。
2. [RHYTHM/SONG] ボタンを何度か押して、Song 画面を表示さ
せます。
3. [PLAY] ボタンを押して点灯させると、オーディオ・ファイルが再
生されます。
[STOP/RESET] ボタンを押すと、オーディオ・ファイルの再生が止
まります。

ご注意!

オーディオ・ファイルを鳴らしているときは、[RHYTHM/SONG]
ボタンを押しても Rhythm 画面に切り替わりません。

オーディオ・ファイルを選ぶ

1. Song 画面で、カーソルを画面の曲番号に移動させます。
2. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、曲番号を選
びます。
再生できる曲がないときは曲番号が「---」と表示され、[INC] [DEC]
ボタンは効きません。

フォルダーの中のオーディオ・ファイルを選ぶ

1. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、フォルダーを
選びます。
フォルダーのアイコンが表示されます。
2. [ENTER] ボタンを押します。
フォルダーの中にあるオーディオ・ファイルが表示されます。
3. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、オーディオ・フ
ァイルを選びます。
フォルダーの外に抜けるときは「up」を選び、[ENTER] ボタンを押
します。

メモ

- ファイル名には半角の英数字 (1 バイト) を使ってください。
- 1 つのフォルダーにつき最大 200 ファイルまで認識します。

オーディオ・ファイルを早送り/早戻しする

1. Song 画面で、カーソルを Time Position に移動させます。
2. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、値を変えます。
表示に合わせて再生位置が変わります。

オーディオ・ファイルの再生の仕方を変える

1. Song 画面で、カーソルを各項目に移動させます。
2. [DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルで、値を変えます。

パラメーター [◀] [▶]	設定値 [DEC] [INC]	説明
Speed	75% ~ 125%	曲の速度を変えて演奏することができます。
Playback Transpose	-6 ~ 0 ~ 5	曲の調を半音単位で変えて再生することができます。
Time Position	00' 00" ~	再生開始の時間位置を指定します (停止時)。 再生経過時間を表示します (再生中)。
Audio Volume	0 ~ 127	オーディオ・ファイルの再生中の音量を設定します。
Audio Output Assign	MAIN, SUB	オーディオの出力先を設定します。
Center Cancel	OFF, ON	中央で鳴っている音 (ボーカルや、メロ ディー楽器の音など) を小さくして再生 することができます。
Play Mode	ONE SONG	曲を再生すると、1 曲だけ再生されて、 再生が終わると停止します。
	ALL SONG	USB メモリーの曲が連続して再生され ます。

曲名を変える

1. Song 画面で、カーソルを Song Rename に合わせて [ENTER]
ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで、文字を入力したい位置にカーソルを
動かします。
3. 必要に応じて、[DEC] [INC] ボタンまたはバリュー・ダイヤルを
使って名前を入力します。

操作	説明
[SHIFT] + [◀] ボタン	一文字削除 (DELETE)
[SHIFT] + [▶] ボタン	一文字の空白を挿入 (INSERT)
[▲] [▼] ボタン	大文字と小文字が切り替わる

ご注意!

「. (ドット)」から始まるオーディオ・ファイルは保存できません。
名前の頭に「. (ドット)」を使わないでください。

4. 手順 2 ~ 3 を繰り返します。
[EXIT] ボタンを押すと、リネーム作業を中止し、元の画面に戻ります。
5. [ENTER] ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。
6. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
曲名が確定します。

曲を削除する

1. Song 画面でカーソルを Song Delete に合わせて [ENTER] ボタ
ンを押します。
確認のメッセージが表示されます。
2. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
曲が削除されます。

ご注意!

- 削除中は、決して電源を切らないでください。
- 削除中は、USB メモリーを抜かないでください。

便利な機能

Menu 画面を表示する

パラメーターの選びかた

1. [MENU] ボタンを押します。



2. カーソル・ボタンで設定したい項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

各項目の設定画面が表示されます。

3. 設定したいパラメーターを選び、[DEC] [INC] ボタンまたはバリュウ・ダイヤルで値を変更します。

4. 設定が終わったら、[EXIT] ボタンを何回か押して TONE 画面または PROGRAM 画面に戻ります。

メモ

以下の設定は、各設定画面で [WRITE] ボタンを押すと RD-2000 に共通の設定として記憶されます。

- System

設定できる項目

Program Edit	プログラムをエディットします。
Program Utility	プログラム・ファイルや曲の管理をします。
Scene Utility	シーンを初期化したり、メモを入力したりできます。
Ext Label Edit	External ZONE にラベルをつけることができます。各画面で外部機器名として表示されます。
Local Control	コントローラー部と音源との接続を設定します。
System	RD-2000 全体の動作環境に関する設定をします。
Utility	RD-2000 の演奏を外部シーケンサーに録音するときの設定や、RD-2000 本体や USB メモリーの初期化をします。
Demo Play	デモ・ソングを再生します。

システムの設定 (システム)

RD-2000 全体の動作環境に関する設定を、システム設定といいます。

1. MENU 画面で [SYSTEM] を選び、[ENTER] ボタンを押します。SYSTEM EDIT 画面が表示されます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで、タブを切り替えます。

パラメーター [▲] [▼]	設定値 [DEC] [INC]	説明
SYSTEM タブ		
Master Tune	415.3 ~ 440.0 ~ 466.2 [Hz]	他の楽器と音の高さを合わせる
Control Destination	SELECT, PROGRAM	つまみなどのコントローラーの操作対象 SELECT: 選んだ ZONE のみ PROGRAM: プログラムの設定
EQ Mode	PROGRAM, REMAIN	
Select Button Mode	PROGRAM, REMAIN	
Pedal Mode	PROGRAM, REMAIN	プログラムを切り替えたとき、プログラムの設定に従う (PROGRAM) か、切り替わる前の設定を引き継ぐ (REMAIN) かを決める
Wheel Mode	PROGRAM, REMAIN	
Assign 1-9 Mode	PROGRAM, REMAIN	

パラメーター [▲] [▼]	設定値 [DEC] [INC]	説明
Delay Mode	PROGRAM, REMAIN	プログラムを切り替えたとき、プログラムの設定に従う (PROGRAM) か、切り替わる前の設定を引き継ぐ (REMAIN) かを決める
Reverb Mode	PROGRAM, REMAIN	
Rhythm Mode	PROGRAM, REMAIN	
Key Touch Mode	TONE/ PROGRAM, REMAIN	トーンやプログラムを変えたとき、トーンやプログラムの設定に従う (TONE/PROGRAM) か、切り替わる前の設定を引き継ぐ (REMAIN) かを決める
Tone/Program Remain	OFF, ON	音色を変えても発音中の音を残す
Tone Ext Zone Remain	OFF, ON	トーンを変えても External ZONE の設定を引き継ぐ
Program Control Channel	OFF, 1 ~ 16	プログラム・チェンジ情報でプログラムを切り替える
USB Driver	VENDER, GENERIC	USB ドライバー
USB MIDI Thru Switch	OFF, ON	USB MIDI Thru スイッチ
MIDI OUT2 Port Mode	OUT, THRU	MIDI THRU/OUT 2 端子の機能を選ぶ
Damper Polarity	STANDARD, REVERSE	ペダルの極性を切り替える
FC1 Polarity	STANDARD, REVERSE	
FC2 Polarity	STANDARD, REVERSE	
EXT Pedal Polarity	STANDARD, REVERSE	
Temperament	EQUAL, JUST MAJ, JUST MIN, PYTHAGOREAN, KIRNBERGER, MEANTONE, WERCKMEISTER, ARABIC	調律法を設定する
Temperament Key	C ~ B	主音を設定します
Clock Out	OFF, ON	同期情報を送る
Hi-Res Velocity Out	OFF, ON	高解像度ベロシティの情報を送信する
Rhythm MIDI Output Port	ALL, OUT1, OUT2, USB	Rhythm の MIDI 出力する端子を選ぶ
Rhythm MIDI Out Channel	OFF, 1 ~ 16	Rhythm の MIDI 出力するチャンネルを選ぶ
Audio Volume	0 ~ 127	オーディオ・ファイルの再生音量を調節する
Output Mix/Parallel	MIX, PARALLEL	➔ [MAIN OUT 端子から一時的に出力する] (P.19)
LCD Brightness	1 ~ 10	ディスプレイの明るさを調節する
Auto Off	OFF, 30 [min], 240 [min]	一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする

システム設定を保存する

1. SYSTEM EDIT 画面で [WRITE] ボタンを押します。確認のメッセージが表示されます。
2. [OK] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。

メモリーを初期化する (フォーマット)

ユーザー・メモリーにあるすべてのプログラム・ファイルを削除したり、USBメモリーを RD-2000 で使用できるように初期化したりすることを、「フォーマット」といいます。

USBメモリーは RD-2000 の形式に合っていないと、RD-2000 で使用することはできません。

新しい USBメモリーを使う場合は、フォーマットをしてください。

ご注意!

フォーマットすると、USB メモリーに保存されている内容はすべて消えてしまいます。初期化する前に必ず、USB メモリーに残しておきたいデータが入っていないか確認してください。

1. MENU 画面で「Utility」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
2. 「Format USB Memory」を選び、[ENTER] ボタンを押します。確認のメッセージが表示されます。



フォーマットを中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. フォーマット実行するときは、[ENTER] ボタンを押します。
4. 「OK」にカーソルを合わせ [ENTER] ボタンを押して、フォーマットを実行します。

ご注意!

- 画面に「Executing..」と表示されている間は、決して電源を切らないでください。
- 読み込み中や書き込み中は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

RD-2000 に記憶した設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. MENU 画面で「Utility」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
2. 「Factory Reset」を選びます。
3. [ENTER] ボタンを押します。確認のメッセージが表示されます。
4. 「OK」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。ファクトリー・リセットを実行します。Factory Reset を実行したときは、RD-2000 の電源を入れ直します。

ご注意!

実行中は「Executing... Don't Power OFF」と表示されます。決して電源を切らないでください。

一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)

- 詳しくは、「自動で電源を切りたくない場合は、「オート・オフ」の設定をオフにしてください」(P.11) をご覧ください。

デモ・ソングを聴く

RD-2000 には、特長を活かしたデモ・ソングが内蔵されています。

ご注意!

- これらのデモ・ソングを個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。
- デモ・ソングの演奏データは MIDI OUT 端子からは出力されません。
- デモ・モードに入ると、各種設定は電源投入時の状態になります。残しておきたい設定は、プログラムに記憶してください (P.23)。
- デモ・ソングの演奏中は、鍵盤を弾いても音は鳴りません。

1. [SPLIT] ボタンを押しながら [TRANPOSE] ボタンを押します。デモ画面が表示されます。
2. カーソル・ボタンでデモ・ソングを選びます。
3. [ENTER] ボタンを押して、デモ・ソングの再生を始めます。
4. デモ・ソングを途中で止めるときは、[ENTER] ボタンを押します。曲が止まっているときに [EXIT] ボタンを押すと、TONE 画面に戻ります。

RD-2000 のデータを USB メモリーへバックアップする (Backup Save)

1. UTILITY 画面で「Backup Save」を選び、[ENTER] ボタンを押します。BACKUP SAVE 画面が表示されます。
2. ファイル・ネームを入力します。

メモ

ネーム入力の操作については、「音色設定をプログラムに保存する (プログラム・ライト)」(P.23) をご覧ください。

3. ファイル・ネームが決まったら、[ENTER] ボタンを押します。確認画面が表示されます。中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
4. 「OK」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。バックアップが完了するとメッセージが表示されます。

USB メモリーへバックアップしたデータを本体に戻す (Backup Load)

バックアップしたデータを本体へ書き戻します。RD-800 で作成した Live Set File を読み出すこともできます。

ご注意!

- ロードを実行すると、すべてのユーザー・データは書き替えられます。本体に大切なデータが保存されているときは、ロードをする前に、別の名前を付けて USB メモリーにバックアップしてください。
- 画面に「Processing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

1. UTILITY 画面で「Backup Load」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。BACKUP LOAD 画面が表示されます。
2. ロードするファイルを、[DEC] [INC] ボタンやバリュースティックで選びます。
3. Load System Parameters を、[DEC] [INC] ボタンやバリュースティックで選びます。NO の場合：プログラム/シーンは読み込みますが、システム設定は読み込まれません。YES の場合：プログラム/シーンに加え、システム設定も読み込まれます。

ご注意!

RD-800 の Live Set File を選んだ場合は、設定に関係なくシステム設定は読み込みません。

4. [ENTER] ボタンを押します。確認画面が表示されます。中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。
5. 「OK」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。ロードが終了するとメッセージが表示されます。

ショートカット一覧

※「[A] + [B]」は、「[A] ボタンを押しながら [B] ボタンを押す」という操作を表します。

ショートカット	説明	ページ
基本操作		
[SHIFT] + [DEC] [INC]、バリュー・ダイヤル	値の変化が大きくなります。トーン変更時は、カテゴリーの先頭音色を選べます。また、プログラム変更時は、バンクの先頭音色を選べます。	P.14
[SHIFT] + [◀] [▶]	ZONE Edit 画面を表示しているとき、タブを移動します。	P.21
トーン、プログラムのエディット		
[TRANPOSE] + 鍵盤、[DEC] [INC]、バリュー・ダイヤル	鍵盤全体のトランスポーズ値を設定します。	P.14
[SPLIT] + 鍵盤	スプリット・ポイントを設定します。	P.15
[RHYTHM/SONG] + [DEC] [INC]	リズム選択時は、リズム・ボリュームを設定します。 オーディオ曲選択時はオーディオ・ボリュームを設定します。	P.25
[SHIFT] + ZONE LEVEL スライダー	ZONE EDIT 画面の VOL (Volume) 項目にジャンプします。	
[SHIFT] + [TRANPOSE]	ZONE EDIT 画面の C Tune (Coarse Tune) 項目にジャンプします。	
[SHIFT] + [SPLIT]	ZONE EDIT 画面の KR LWR (Keyboard Range Lo) 項目にジャンプします。	
[SHIFT] + SELECT [1] ~ [8]、[USB AUDIO]	ZONE EDIT 画面にジャンプします。	
[SHIFT] + INT [1] ~ [8]	選んだ ZONE の INTERNAL/EXTERNAL アサインを入れ替えます。	
[SHIFT] + [USB AUDIO]	SYSTEM EDIT 画面の [USB AUDIO] タブへジャンプします。	
[SHIFT] + [SCENE]	Tone Wheel Organ 音色において、HARMONIC BAR モードを ON にします。	
[EXIT] + ZONE LEVEL スライダー [1] ~ [8]、 USB-AUDIO スライダー、つまみ	各スライダー、つまみの現在値を表示し、設定値にあわせることができます (Status & Catch)。	
[SHIFT] + [STOP/RESET]	すべてのパートに ALL NOTE OFF を送信します (PANIC 機能)。	
リバーブ		
[SHIFT] + REVERB つまみ	REVERB 画面にジャンプします。	P.16
トーン・カラー		
[SHIFT] + TONE COLOR つまみ	ZONE EDIT 画面の TON CLR (Tone Color Control Destination) 項目にジャンプします。	P.20
EQ / ディレイ / アサイン		
[SHIFT] + 各 EQ つまみ (LOW, MID2, MID3, HIGH)	EQ 画面にジャンプします。	P.17
[SHIFT] + 各 DELAY つまみ (TYPE, LEVEL, FEEDBACK, TIME)	DELAY 画面にジャンプします。	P.16
[SHIFT] + 各 ASSIGN つまみ (1 ~ 8)	PROGRAM EDIT の ASSIGN 画面の KNOB 1 ~ 8 項目にジャンプします。	P.17
[SHIFT] + ASSIGN [9]	PROGRAM EDIT の ASSIGN 画面の SWITCH 9 項目にジャンプします。	
モジュレーション FX		
[SHIFT] + MOD FX [TYPE]、[DEPTH]、[RATE] つまみ	Modulation FX Control Destination で選ばれている ZONE の Modulation FX 画面にジャンプします。	
[SHIFT] + MOD FX [ON/OFF]	ZONE EDIT 画面の MOD FX (Modulation FX Control Destination) 項目にジャンプします。	
トレモロ / アンプ・シミュレーター		
TREMOLO [ON/OFF] + [DEC] [INC]、バリュー・ダイヤル	SELECT (または Tremolo/Amp Control Destination) で選ばれている ZONE のトレモロ / アンプ・シミュレーター・タイプを変えます。	P.17
AMP SIM [ON/OFF] + [DEC] [INC]、バリュー・ダイヤル		
[SHIFT] + TREMOLO [TYPE]、[DEPTH]、[RATE] つまみ	ZONE EDIT 画面の Tremolo/Amp Simulator 画面にジャンプします。	
[SHIFT] + AMP SIM [DRIVE] つまみ		
[SHIFT] + TREMOLO [ON/OFF]	ZONE EDIT 画面の TR/AMP (Tremolo/Amp Control Destination) 項目にジャンプします。	
[SHIFT] + AMP SIM [ON/OFF]		
ピッチ・ベンド・レバー、モジュレーション・レバー		
[SHIFT] + ピッチ・ベンド・レバー	ZONE EDIT 画面の PCH BND (Pitch Bend Control Switch) 項目にジャンプします。	
[SHIFT] + モジュレーション・レバー	ZONE EDIT 画面の MOD CTL (Modulation Control Switch) 項目にジャンプします。	
モジュレーション・ホイール 1 / 2		
[SHIFT] + [MOD WHEEL 1/2]	PROGRAM EDIT の ASSIGN 画面、MOD WHEEL 項目へジャンプします。	
ペダル		
[SHIFT] + ペダル (DAMPER)	ZONE EDIT 画面の Damper (Damper Control Switch) 項目にジャンプします。	
[SHIFT] + ペダル (FC1, FC2, EXT)	Pedal 画面にジャンプします。	
パネル・ロック		
[MENU] + [ENTER]	パネル・ロックします。	P.14
名前入力操作		
[▲] [▼] ボタン	大文字と小文字が切り替わります。	P.23、P.25
[SHIFT] + [◀]	一文字削除します (DELETE)。	
[SHIFT] + [▶]	一文字の空白を挿入します (INSERT)。	

For the USA

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION RADIO FREQUENCY INTERFERENCE STATEMENT

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment requires shielded interface cables in order to meet FCC class B limit.
Any unauthorized changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

For Canada

CAN ICES-3 (B)/NMB-3 (B)

For Korea

사용자 안내문

기종별	사용자 안내문
B 급 기기 (가정용 방송통신기자재)	이 기기는 가정용(B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

For C.A. US (Proposition 65)

WARNING

This product contains chemicals known to cause cancer, birth defects and other reproductive harm, including lead.

Manufacturer: 2036-1 Nakagawa, Hosoe-cho, Kita-ku, Hamamatsu, Shizuoka 431-1304, JAPAN
Importer: ENA 23 Zone 1 nr. 1620 Klaus-Michael Kuehnelaan 13, 2440 Geel, BELGIUM



For the USA

DECLARATION OF CONFORMITY Compliance Information Statement

Model Name : RD-2000
Type of Equipment : Digital Piano
Responsible Party : Roland Corporation U.S.
Address : 5100 S. Eastern Avenue Los Angeles, CA 90040-2938
Telephone : (323) 890-3700

For EU Countries



- UK** This symbol indicates that in EU countries, this product must be collected separately from household waste, as defined in each region. Products bearing this symbol must not be discarded together with household waste.
- DE** Dieses Symbol bedeutet, dass dieses Produkt in EU-Ländern getrennt vom Hausmüll gesammelt werden muss gemäß den regionalen Bestimmungen. Mit diesem Symbol gekennzeichnete Produkte dürfen nicht zusammen mit den Hausmüll entsorgt werden.
- FR** Ce symbole indique que dans les pays de l'Union européenne, ce produit doit être collecté séparément des ordures ménagères selon les directives en vigueur dans chacun de ces pays. Les produits portant ce symbole ne doivent pas être mis au rebut avec les ordures ménagères.
- IT** Questo simbolo indica che nei paesi della Comunità europea questo prodotto deve essere smaltito separatamente dai normali rifiuti domestici, secondo la legislazione in vigore in ciascun paese. I prodotti che riportano questo simbolo non devono essere smaltiti insieme ai rifiuti domestici.
Ai sensi dell'art. 13 del D.Lgs. 25 luglio 2005 n. 151.
- ES** Este símbolo indica que en los países de la Unión Europea este producto debe recogerse aparte de los residuos domésticos, tal como esté regulado en cada zona. Los productos con este símbolo no se deben depositar con los residuos domésticos.
- PT** Este símbolo indica que nos países da UE, a recolha deste produto deverá ser feita separadamente do lixo doméstico, de acordo com os regulamentos de cada região. Os produtos que apresentem este símbolo não deverão ser eliminados juntamente com o lixo doméstico.
- NL** Dit symbool geeft aan dat in landen van de EU dit product gescheiden van huishoudelijk afval moet worden aangeboden, zoals bepaald per gemeente of regio. Producten die van dit symbool zijn voorzien, mogen niet samen met huishoudelijk afval worden verwijderd.
- DK** Dette symbol angiver, at i EU-lande skal dette produkt opsamles adskilt fra husholdningsaffald, som defineret i hver enkelt region. Produkter med dette symbol må ikke smides ud sammen med husholdningsaffald.
- NO** Dette symbolet indikerer at produktet må behandles som spesialavfall i EU-land, iht. til retningslinjer for den enkelte regionen, og ikke kastes sammen med vanlig husholdningsavfall. Produkter som er merket med dette symbolet, må ikke kastes sammen med vanlig husholdningsavfall.
- SE** Symbolen anger att i EU-länder måste den här produkten kasseras separat från hushållsavfall, i enlighet med varje regions bestämmelser. Produkter med den här symbolen får inte kasseras tillsammans med hushållsavfall.
- FI** Tämä merkintä ilmaisee, että tuote on EU-maissa kerättävä erillään kotitalousjätteistä kunkin alueen voimassa olevien määräysten mukaisesti. Tällä merkinnällä varustettuja tuotteita ei saa hävittää kotitalousjätteiden mukana.
- HU** Ez a szimbólum azt jelenti, hogy az Európai Unióban ezt a terméket a háztartási hulladéktól elkülönítve, az adott régióban érvényes szabályozás szerint kell gyűjteni. Az ezzel a szimbóllummal ellátott termékeket nem szabad a háztartási hulladék közé dobni.
- PL** Symbol oznacza, że zgodnie z regulacjami w odpowiednim regionie, w krajach UE produktu nie należy wyrzucać z odpadami domowymi. Produktów opatrzonych tym symbolem nie można utylizować razem z odpadami domowymi.
- CZ** Tento symbol udává, že v zemích EU musí být tento výrobek sbírán odděleně od domácího odpadu, jak je určeno pro každý region. Výrobky nesoucí tento symbol se nesmí vyhazovat spolu s domácím odpadem.
- SK** Tento symbol vyjadruje, že v krajinách EÚ sa musí zber tohto produktu vykonávať oddelene od domového odpadu, podľa nariadení platných v konkrétnej krajine. Produkty s týmto symbolom sa nesmú vyhazovať spolu s domovým odpadom.
- EE** See sümbol näitab, et EL-i maades tuleb see toode olemprügist eraldi koguda, nii nagu on igas piirkonnas määratletud. Selle sümboliga märgitud tooteid ei tohi ära visata koos olmeprügiga.
- LT** Šis simbolis rodo, kad ES šalyse šis produktas turi būti surenkamas atskirai nuo buitinių atliekų, kaip nustatyta kiekviename regione. Šiuo simboliu paženklinoti produktai neturi būti išmetami kartu su buitinėmis atliekomis.
- LV** Šis simbols norāda, ka ES valstīs šo produktu jāievāc atsevišķi no mājsaimniecības atkritumiem, kā noteikts katrā reģionā. Produktus ar šo simbolu nedrīkst izmest kopā ar mājsaimniecības atkritumiem.
- SI** Ta simbol označuje, da je treba proizvod in državah EU zbirati ločeno od gospodinjskih odpadkov, tako kot je določeno v vsaki regiji. Proizvoda s tem znakom ni dovoljeno odlagati skupaj z gospodinjskimi odpadki.
- GR** Το σύμβολο αυτό υποδηλώνει ότι στις χώρες της Ε.Ε. το συγκεκριμένο προϊόν πρέπει να συλλέγεται χωριστά από τα υπόλοιπα οικιακά απορρίμματα, σύμφωνα με όσα προβλέπονται σε κάθε περιοχή. Τα προϊόντα που φέρουν το συγκεκριμένο σύμβολο δεν πρέπει να απορρίπτονται μαζί με τα οικιακά απορρίμματα.

有关产品中所含有害物质的说明

本资料就本公司产品中所含的特定有害物质及其安全性予以说明。

本资料适用于2007年3月1日以后本公司所制造的产品。

环保使用期限



此标志适用于在中国国内销售的电子信息产品，表示环保使用期限的年数。所谓环保使用期限是指在自制造日起的规定期限内，产品中所含的有害物质不致引起环境污染，不会对人身、财产造成严重的不良影响。

环保使用期限仅在遵照产品使用说明书，正确使用产品的条件下才有效。不当的使用，将会导致有害物质泄漏的危险。

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr(VI))	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
外壳(壳体)	X	○	○	○	○	○
电子部件(印刷电路板等)	X	○	X	○	○	○
附件(电源线、交流适配器等)	X	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
 X：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。因根据现有的技术水平，还没有什么物质能够代替它。

お問い合わせの窓口

- 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <https://www.roland.com/jp/>

ボス・ホームページ <https://www.boss.info/jp/>

Information

When you need repair service, call your nearest Roland Service Center or authorized Roland distributor in your country as shown below.

AFRICA

REUNION

MARCEL FO-YAM Sarl
25 Rue Jules Hermann,
Chaudron - BP79 97 491
Ste Clotilde Cedex,
REUNION ISLAND
TEL: (0262) 218-429

SOUTH AFRICA

Poul Bothner(PTY)Ltd.
Royal Cape Park, Unit 24
Londonderry Road, Ottery 7800
Cape Town, SOUTH AFRICA
TEL: (021) 799 4900

ASIA

HONG KONG

Tom Lee Music
11/F Silvercord Tower 1
30 Canton Rd
Tsimshatsui, Kowloon,
HONG KONG
TEL: 852-2737-7688

Parsons Music Ltd.

8th Floor, Railway Plaza, 39
Chatham Road South, T.S.T,
Kowloon, HONG KONG
TEL: 852-2333-1863

INDIA

Rivera Digitec (India) Pvt. Ltd.
411, Nirman Kendra Mahalaxmi
Flats Compound Off. Dr. Edwin
Moses Road, Mumbai-400011,
INDIA
TEL: (022) 2493 9051

INDONESIA

PT. Citra Intirama
Ruko Garden Shopping Arcade
Unit 8 CR, Podomoro City
Jl.Letjend. S.Parmar Kav.28
Jakarta Barat 11470, INDONESIA
TEL: (021) 5698-5519/5520

KAZAKHSTAN

Alatau Dybystary
141 Abylai-Khan ave, 1st floor,
050000 Almaty, KAZAKHSTAN
TEL: (727) 2725477
FAX: (727) 2720730

KOREA

Cosmos Corporation
27, Banpo-daero, Seocho-gu,
Seoul, KOREA
TEL: (02) 3486-8855

MALAYSIA

Roland Asia Pacific Sdn. Bhd.
45-1, Block C2, Jalan PJU 1/39,
Dataran Prima, 47301 Petaling
Jaya, Selangor, MALAYSIA
TEL: (03) 7805-3263

MYANMAR

THAW AND ZIN FAMILY CO., LTD.
4061-4062, Taw Win Center,
Level-3, Yangon, MYANMAR
TEL: 09 31010744 / 09 5061300

PHILIPPINES

G.A. Yupangco & Co. Inc.
339 Gil J. Puyat Avenue
Makati, Metro Manila 1200,
PHILIPPINES
TEL: (02) 899 9801

SINGAPORE

Swee Lee Service Centre
12 Jalan Kilang Barat #01-00
Singapore 159354
TEL: (+65) 6376 6141

TAIWAN

**ROLAND TAIWAN ENTERPRISE
CO., LTD.**
9F-5, No. 112 Chung Shan
North Road Sec. 2 Taipei 104,
TAIWAN
TEL: (02) 2561 3339

THAILAND

Theera Music Co., Ltd.
100-108 Soi Verng
Nakornkasem, New Road,
Sumpantawong, Bangkok
10100, THAILAND
TEL: (02) 224-8821

VIET NAM

VIET THUONG CORPORATION
386 CACH MANG THANG TAM ST.
DIST.3, HO CHI MINH CITY,
VIET NAM
TEL: (08) 9316540

CARIBBEAN

BARBADOS

A&B Music Supplies LTD
12 Webster Industrial Park
Willey, St.Michael, BARBADOS
TEL: (246) 430-1100

CURACAO

Zeelandia Music Center Inc.
Orionweg 30
Curacao, Netherland Antilles
TEL: (305) 5926866

DOMINICAN REPUBLIC

Instrumentos Fernando Giraldez
Calle Roberto Pastoriza #325
Sanchez Naco Santo Domingo,
DOMINICAN REPUBLIC
TEL: (809) 683 0305

MARTINIQUE

Musique & Son
Z.I.Les Mangle
97232 Le Lamentin,
MARTINIQUE F.W.I.
TEL: 596 596 426860

TRINIDAD

AMR Ltd
Ground Floor Maritime Plaza
Barataria TRINIDAD W.I.
TEL: (868) 638 6385

CENTRAL/SOUTH AMERICA

ARGENTINA

Instrumentos Musicales S.A.
Av.Santa Fe 2055
(1123) Buenos Aires, ARGENTINA
TEL: (011) 4508-2700

BRAZIL

Roland Brasil Ltda.
Rua San Jose, 211
Parque Industrial San Jose
Cotia - Sao Paulo - SP, BRAZIL
TEL: (011) 4615 5666

CHILE

Audiomusica SpA
Av. Chile Espana 393
Ñuñoa
Santiago, CHILE
TEL: (+56) 2 2384 20 00

COLOMBIA

CENTRO MUSICAL S.A.S.
Parque Industrial del Norte
Bodega 130
GIRARDOTA - ANTIOQUIA,
COLOMBIA
TEL: (454) 57 77 EXT 115

COSTA RICA

**JUAN Bunsbach Instrumentos
Musicales**
Ave.1. Calle 11, Apartado 10237,
San Jose, COSTA RICA
TEL: 258-0211

ECUADOR

Mas Musica
Rumichaca 822 y Zaruma
Guayaquil - ECUADOR
TEL: (593-4) 2302364

EL SALVADOR

OMNI MUSIC
75 Avenida Norte y Final Alameda
Juan Pablo II, Edificio No.4010
San Salvador, EL SALVADOR
TEL: 262-0788

GUATEMALA

Casa Instrumental
Calzada Roosevelt 34-01,zona
11 Ciudad de Guatemala,
GUATEMALA
TEL: (502) 599-2888

HONDURAS

Almacen Pajaro Azul S.A. de C.V.
BO.Paz Barahona
3 Ave.11 Calle S.O
San Pedro Sula, HONDURAS
TEL: (504) 553-2029

NICARAGUA

**Bansbach Instrumentos
Musicales Nicaragua**
Altamira D'Este Calle Principal
de La Farmacia 5ta.Avenida
1 Cuadra al Lago.#503
Managua, NICARAGUA
TEL: (505) 277-2557

PANAMA

SUPRO MUNDIAL, S.A.
Boulevard Andrews, Albrook,
Panama City, REP. DE PANAMA
TEL: 315-0101

PARAGUAY

WORLD MUSIC
Jebai Center 2018, Centro
CIUADA DE ESTE, PARAGUAY
TEL: (595) 615 059

PERU

Audiomusica Peru SAC
Av.Angamos Oeste 737
Piso 3
Miraflores
Lima, PERU
TEL: (+57) 1 2557005

URUGUAY

Todo Musica S.A.
Francisco Acuna de Figueroa
1771
C.P.: 11.800
Montevideo, URUGUAY
TEL: (02) 924-2335

VENEZUELA

**Instrumentos Musicales
Allegro, C.A.**
Av.Las industrias edf.Guitar
import #7 zona Industrial de
Turumo Caracas, VENEZUELA
TEL: (212) 244-1122

EUROPE

BELGIUM/FRANCE/ HOLLAND/ LUXEMBOURG

Roland Central Europe N.V.
Houtstraat 3, B-2260, Oevel
(Westerlo) BELGIUM
TEL: (014) 575811

BOSNIA AND HERZEGOVINA

Mix-AP Music
78000 Banja Luka, Veselina
Maslese 3,
BOSNIA AND HERZEGOVINA
TEL: 65 403 168

CROATIA

ART-CENTAR
Degenova 3.
HR - 10000 Zagreb, CROATIA
TEL: (1) 466 8493

EUROMUSIC AGENCY

K. Racina 1/15
HR - 40000 CAKOVEC, CROATIA
Tel: 40-370-841

CZECH REPUBLIC

DISTRIBUTOR s.r.o
Pod Bani 8
180 00 Praha 8, CZECH REP.
TEL: 266 312 557

DENMARK/ESTONIA/ LATVIA/LITHUANIA

Roland Scandinavia A/S
Skagerakvej 7, DK-2150
Nordhavn, DENMARK
TEL: 39166200

FINLAND

**Roland Scandinavia As, Filial
Finland**
Vanha Nurmijarventie 62
01670 Vantaa, FINLAND
TEL: (0) 9 68 24 020

GERMANY/AUSTRIA

ROLAND Germany GmbH.
Adam-Opel-Strasse 4, 64569
Nauheim, GERMANY
TEL: 6152 95546-00

GREECE/CYPRUS

STOLLAS S.A.
Music Sound Light
155, New National Road
Patras 26442, GREECE
TEL: 2610 435400

HUNGARY

Roland East Europe Ltd.
2045, Törökbalint, FSD Park 3. ép.,
HUNGARY
TEL: (23) 511 011

IRELAND

Roland Ireland
E2 Calmount Park, Calmount
Avenue, Dublin 12,
Republic of IRELAND
TEL: (01) 4294444

ITALY

Roland Italy S. p. A.
Viale delle Industrie 8,
20020 Arese, Milano, ITALY
TEL: (02) 937781

MACEDONIA

MK MUJZIK
Bratstvo Edinstvo 9
2208 Lozovo, MACEDONIA
TEL: 70 264 458

MONTENEGRO

MAX-AP
Zrtava Fašizma 73, 85310 Budva,
MONTENEGRO
TEL: (+382) 33 473 411
(+382) 67 270 840

NORWAY

**Roland Scandinavia Avd.
Kontor Norge**
Lilleakerveien 2 Postboks 95
Lilleaker N-0216 Oslo,
NORWAY
TEL: 2273 0074

POLAND

ROLAND POLSKA SP. Z O.O.
ul. Katy Godziskie 16B
03-289 Warszawa, POLAND
TEL: (022) 678 9512

PORTUGAL

**Roland Iberia S.L.
Branch Office Porto**
Rua 5 de Outubro nº 5587
4465-082 Sao Mamede de
Infesta, Porto, PORTUGAL
TEL: (+351) 22 01 39 526

ROMANIA

Pro Music Concept SRL
440221 Satu Mare
B-dul Independentei nr. 14/a.,
ROMANIA
TEL: (0361) 807-333

RUSSIA

Roland Music LLC
Dorozhnaya ul.3,korp.6
117 545 Moscow, RUSSIA
TEL: (495) 981-4967

SERBIA

Music AP
Sutjeska br. 5 XS - 24413 PALIC,
SERBIA
TEL: (0) 24 539 395

SLOVAKIA

DAN Distribution, s.r.o.
Povazská 18.
SK - 940 01 Nové Zámky,
SLOVAKIA
TEL: (035) 6424 330

SPAIN

Roland Iberia S.L.
Llacuna, 161, 2^a-2^a
08018 Barcelona, SPAIN
TEL: (00 34) 93 493 91 36

SWEDEN

**Roland Scandinavia A/S
SWEDISH SALES OFFICE**
Märbackagatan 31, 4 tr.
SE-123 43 Farsta, SWEDEN
TEL: (0) 8 683 04 30

SWITZERLAND

Roland (Switzerland) AG
Landstrasse 5, Postfach,
CH-4452 Itingen, SWITZERLAND
TEL: (061) 975-9987

TURKEY

ZUHAL DIS TICARET A.S.
Galipdede Cad. No: 33 Tunel,
Beyoglu, Istanbul, Turkey
TEL: (0212) 249 85 10

UKRAINE

EURHYTHMICS Ltd.
P.O.Box: 37-a.
Nedecey Str. 30
UA - 89600 Mukachevo,
UKRAINE
TEL: (03131) 314-40

UNITED KINGDOM

Roland (U.K.) Ltd.
Atlantic Close, SWANSEA S47
9FJ, UNITED KINGDOM
TEL: (01792) 702701

MIDDLE EAST

BAHRAIN

Moon Stores
No.1231&1249 Rumaytha
Building Road 3931,
Manama 339, BAHRAIN
TEL: 17 813 942

EGYPT

Al Fanny Trading
9, EBN Hagar Al Askalany Street,
ARD E1 Golf, Heliopolis,
Cairo 11341, EGYPT
TEL: (022)-417-1828

IRAN

MOCO INC.
Jadeh Makhsous Karaj (K-9),
Nakhe Zarin Ave.
Jalal Street, Reza Alley No.4
Tehran 1389716791, IRAN
TEL: (021)-44545370-5

ISRAEL

**Halilit P. Greenspoon &
Sons Ltd.**
8 Retzif Ha'alia Hashnia St.
Tel-Aviv-Yafo ISRAEL
TEL: (03) 6823666

JORDAN

**MUSIC HOUSE CO. LTD.
FREDDY FOR MUSIC**
P. O. Box 922846
Amman 11192, JORDAN
TEL: (06) 5692696

KUWAIT

**EASA HUSAIN AL-YOUSIFI &
SONS CO.**
Al-Yousifi Service Center
P.O.Box 126 (Safat) 13002,
KUWAIT
TEL: 00 965 802929

LEBANON

Chahine S.A.L.
George Zeidan St., Chahine Bldg.,
Achrafieh, P.O.Box: 16-5857
Beirut, LEBANON
TEL: (01) 20-1441

OMAN

TALENTZ ENTERPRISES LLC
MALATAN BUILDING NO. 4
SHOP NO. 3
AL NOOR STREET
RUWI
SULTANATE OF OMAN.
TEL: 00968 24783443
FAX: 00968 24784554

QATAR

**AL-EMADI TRADING &
CONTRACTING CO.**
P.O. Box 62, Doha, QATAR
TEL: 4423-554

SAUDI ARABIA

**Adawliah Universal
Electronics APL**
Behind Pizza Inn
Prince Turkey Street
Adawliah Building,
PO BOX 2154,
Al Khobar 31952,
SAUDI ARABIA
TEL: (03) 8643601

SYRIA

Technical Light & Sound Center
PO Box 13520 Bldg No.49
Khaled Abn Alwalia St.
Damascus, SYRIA
TEL: (011) 223-5384

U.A.E.

**Adawliah Universal
Electronics APL**
Omar bin alkhattab street, fish
round about, nayef area, deira,
Dubai, U.A.E.
TEL: (04) 2340442

NORTH AMERICA

CANADA

**Roland Canada Ltd.
(Head Office)**
5480 Parkwood Way Richmond
B. C., V6V 2M4, CANADA
TEL: (604) 270 6626

Roland Canada Ltd. (Toronto Office)

170 Admiral Boulevard
Mississauga On L5T 2N6,
CANADA
TEL: (905) 362 9707

MEXICO

Casa Veerkamp, s.a. de c.v.
Av. Toluca No. 323, Col. Olivar
de los Padres 01780 Mexico D.F.,
MEXICO
TEL: (55) 5668-6699

Faly Music

Sucursal Capu Blvd. Norte N.3213
Col. Nueva Aurora Cp.72070
Puebla, Puebla, MEXICO
TEL: 01 (222) 2315567 o 97
FAX: 01 (222) 2266241

Gama Music S.A. de C.V.

Madero Pte. 810 Colonia Centro
C.P. 64000 Monterrey, Nuevo
León, MEXICO
TEL: 01 (81) 8374-1640 o 8372-4097
www.gamamusica.com

Holocausto Music

Bolivar No.62 y 76, Col.Centro
Del.Cuahutemoc
Mexico D.F. CP 06080, MEXICO
TEL: 52-55 5709 9046

Top Music S de RL de CV

Mesones 13 Local B
Col Centro Del Cuahutemoc
Mexico D.F. CP 06080, MEXICO
TEL: 52-55-57099090

U. S. A.

Roland Corporation U.S.
5100 S. Eastern Avenue
Los Angeles, CA 90040-2938,
U. S. A.
TEL: (323) 890 3700

OCEANIA

AUSTRALIA/NEW ZEALAND

**Roland Corporation
Australia Pty., Ltd.**
38 Campbell Avenue, Dee Why
West. NSW 2099, AUSTRALIA

For Australia
TEL: (02) 9982 8266

For New Zealand
TEL: (09) 3098 715

 Roland

